

# 八代地域管内概要



平成28年11月  
熊本県県南広域本部

# 八代地域振興局管内概要

## 目次

---

### I 概況

1) 八代地域の現況	2
2) 管内地図	3
3) 組織・機構図	4
4) 運営方針	5

### II 各部及び管内機関の取組み

1) 総務部	10
2) 保健福祉環境部	11
3) 農林水産部	12
4) 土木部	13
5) 八代港管理事務所	14
6) 氷川ダム管理所	14

### III データ

1) 面積	16
2) 人口	16
3) 福祉医療	19
4) 産業と雇用	22
5) 農業	24
6) 林業	30
7) 水産業	33
8) 商業	36
9) 工業	38
10) 港湾	40
11) 観光	42
12) 基盤整備	44

# I 概 況

# 八代地域の現況

## (1) 地勢

- ・八代地域は八代市・氷川町の1市1町で構成され、南北約35km・東西約50kmに広がり、面積は約714km<sup>2</sup>で県土の約10%を占める。
- ・一級河川球磨川・氷川河口の沖積平野と干拓地で形成された西の平野部と、九州山地の脊梁地帯を形成する東の山地に大別される。

## (2) 人口

- ・平成27年国勢調査によると管内人口は139,466人(八代市:127,472人、氷川町:11,994人)で、県人口の約7.8%を占める。
- ・平成26年人口動態調査によると管内人口を年齢3区分別に見ると、年少人口比率が12.4%(県全体13.8%)、老年人口比率が31.4%(県全体28.0%)であり、県全体よりも少子高齢化が進行している。

## (3) 福祉医療

- ・平成27年の要介護認定率は八代市で19.9%、氷川町で18.9%といずれも県全体(20.5%)を下回っている。
- ・管内の保健医療施設数は222施設(八代市:205、氷川町:17)で県全体の8.8%を占める。

## (4) 産業

- ・平成22年国勢調査で産業別の就業人口を見ると、第1次産業への就業者が15.2%(県全体10.2%)を占め、特に農業が盛んな地域である。
- ・平成25年度市町村民所得推計によれば、県内総生産額に占める八代地域の割合は約7.6%であるが、第1次産業に限ると県内の15.2%を占めている。

## (5) 農林水産業

- ・平成26年度の作付面積では、しょうが、トマト、イチゴ、冬キャベツ、ブロッコリー、晩白柚、いぐさなどが県内(11管内)で第1位となっている。特に、トマト・晩白柚・いぐさは全国有数の生産地となっている。
- ・管内のH28年4月現在の民有林面積は約4万haで、県内民有林面積に占める割合は10.1%である。
- ・平成25年の八代管内漁獲量は306トンで、県全体に占める割合は1.4%である。

## (6) 商工業

- ・平成26年商業統計調査では、管内の年間商品販売額は229,126百万円で県内の6.2%を占めている。
- ・平成26年工業統計調査では、製造品出荷額は241,244百万円で、県内の9.8%を占めている。
- ・平成27年八代港コンテナ取扱量は18,151TEUで、過去最高レベルの取扱量となった。

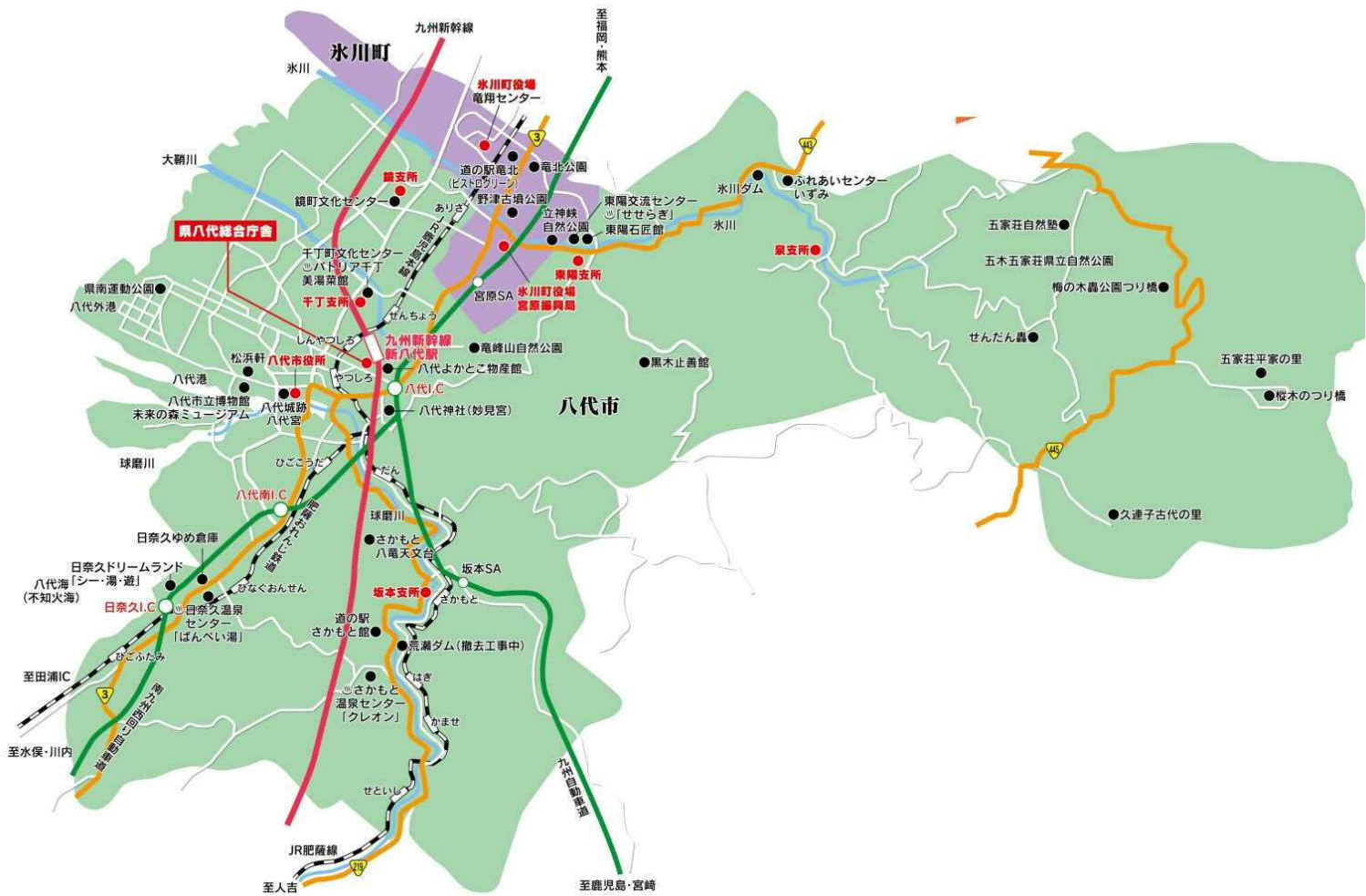
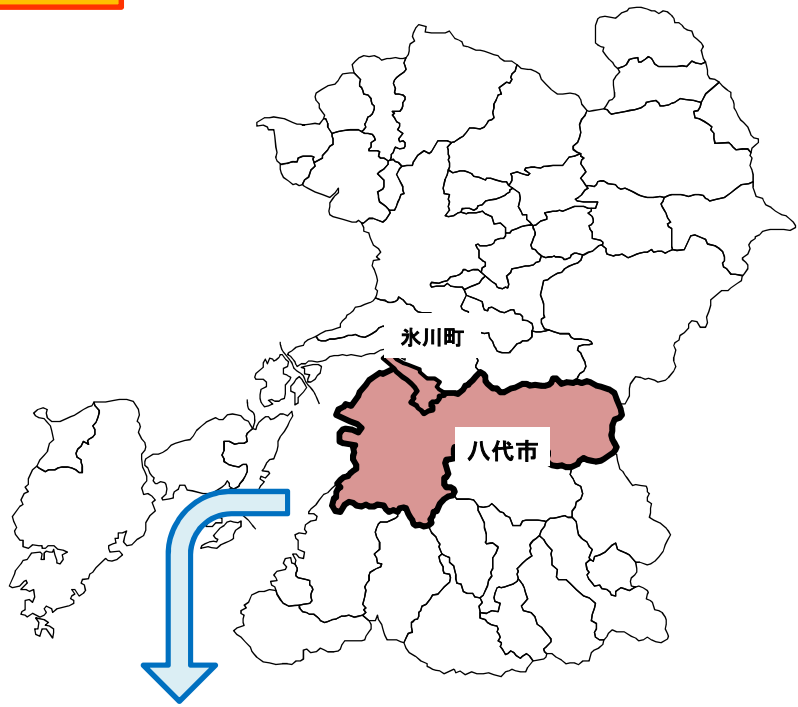
## (7) 観光

- ・平成26年熊本県観光統計によると、管内を訪れた観光入込客数は3,416千人(県内シェア5.8%)で、うち宿泊客は268千人(県内シェア3.9%)であった。
- ・平成22年時と比較すると、観光入込客数は102%(76千人増)、宿泊客は120%(46千人増)となった。

## (8) 基盤整備

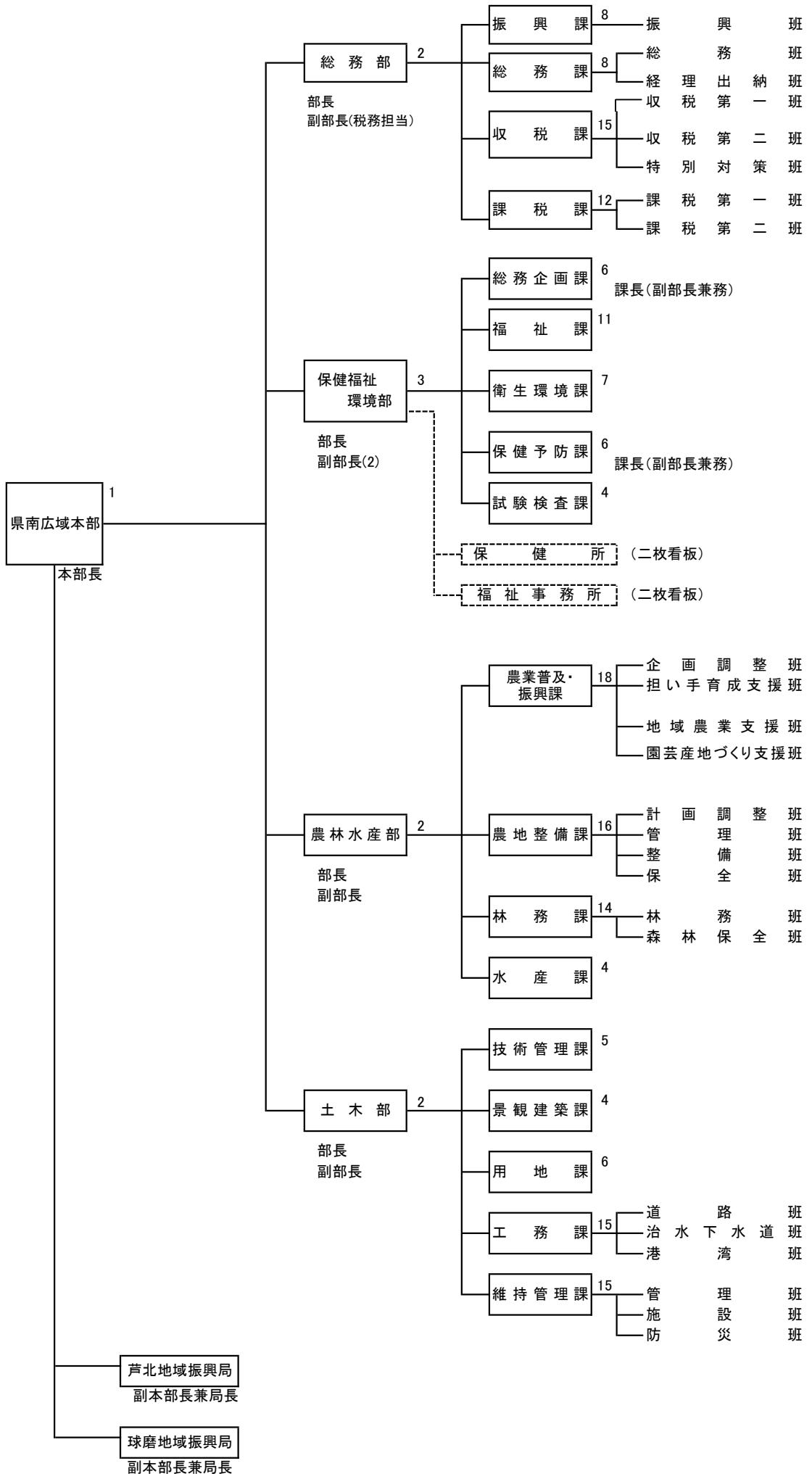
- ・鉄道は九州新幹線、JR鹿兒島本線、肥薩おれんじ鉄道が南北に、肥薩線が東西に走っている。
- ・道路は九州自動車道、南九州西回り自動車道、国道3号・219号・443号・445号が整備されている。
- ・港湾は物流拠点として、県内最大の貨物取扱量を誇る八代港を有している。

# 八代地域振興局管内地図



# 県南広域本部(八代地域振興局)組織機構

H28.4.1.現在



# 平成28年度県南広域本部運営方針

H28. 4. 1 県南広域本部

## 1 基本的な考え方

県南広域本部では、「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」や新たな県総合計画に基づき、八代、水俣・芦北、人吉・球磨の3地域が有する優れた地域資源を最大限活用し、連携して地域の活性化に取り組むこととする。

また、引き続き事業の重点化を図りつつ、県政の重要課題である「県南振興」、「水俣・芦北地域振興計画」の着実な推進、「五木村の振興」に取り組むとともに、管内市町村における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業の推進に係る支援等に、総力を挙げて取り組むものとする。

## 2 広域本部体制による業務の推進

### 広域本部体制の円滑な運営

- ・ 県南広域本部正副本部長会議及び部長等会議において、情報・認識の共有を図りつつ課題へ対応する。
- ・ 本年度実施される「熊本県・県南地域総合防災訓練」を通して、危機事案が発生した際の対応力を強化するとともに、市町村や消防、警察等関係機関と有事に際しての準備体制を整え、危機事案に迅速かつ適切に対応する。

### 広域業務の円滑な実施

○効果的・効率的に県民サービスを提供するため、多くの経験と知識を要する広域業務について専門性を高める。

(広域業務の例)

- ・ 広域的な地域振興、観光振興に関する企画、調整
- ・ 県税の徴収、課税
- ・ 保健福祉環境行政に関する企画、調整
- ・ 地域福祉施策の推進
- ・ 社会福祉法人及び施設等の運営指導
- ・ 保育所関係業務
- ・ 医療監視
- ・ 農林水産業に関する施策の企画、総合調整
- ・ 農振除外手続き、農地転用許可等

- ・農地整備に係る企画、計画、調整
- ・土地改良事業に係る用地、換地関係
- ・林務企画関係
- ・水産関係
- ・土木工事検査
- ・市町村の土木技術に関する指導、助言
- ・景観建築業務 等

○上記に加え、地域に密着することにより、県民サービスの向上を目指す。

#### 業務改善への積極的な取組

広域本部体制による効果的、効率的な業務推進を図るため、積極的な業務改善等に努める。

### 3 平成28年度県南広域本部重点取組

#### (1) 市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げられた事業等の実施に対する支援

- ・市町村の総合戦略に掲げられた事業等の本格的な実施の段階となるため、特に市町村の広域連携の取組に対する支援に力を入れ、県南地域が抱える広域的な課題の解決等に向けて市町村をリードしていく。

#### (2) くまもと県南フードバレー構想に資する取組の支援

くまもと県南フードバレー構想の実現に向け、本庁関係各課と連携を密に行い、次の取組を着実に推進する。

- ・6次産業化・農商工連携の活発化
- ・生産・流通体制の整備
- ・八代港の活用等による輸出の拡大
- ・首都圏等への販路拡大
- ・県南地域の特性を活かしたブランドの確立
- ・木材利活用の最大化

#### (3) 地域資源を活かした広域的連携による地域振興・観光振興

- ・くまもと県南広域観光連携推進会議を活用した広域連携の取組の実施
- ・阿蘇くまもと空港に台湾高雄線、香港線の定期便が就航したことを踏まえ、アジアからインバウンドを積極的に県南地域に誘客する。



- ・海外大型クルーズ船の寄港により生まれる県南地域における経済効果を最大化するための取組の推進
- ・肥薩おれんじ鉄道やくま川鉄道等を活用した南九州をにらんだ県境連携を含む広域連携プロジェクトの実施
- ・各地域のビッグイベントなど県南地域の素材を活かした地域振興の推進

#### **(4) 「第六次水俣・芦北地域振興計画」の着実な推進**

- ・シーサイドロードや水俣広域公園整備、南九州西回り自動車道整備の働きかけ
- ・水俣・芦北地域雇用創造協議会を通じた産業振興、雇用創出

#### **(5) 五木村の振興・球磨川流域の治水対策の推進**

- ・「ふるさと五木村づくり計画」や「五木村生活再建基盤整備計画」の着実な実施
- ・国道445号等幹線道路の改良及び新規林道の開設支援
- ・河川改修等による球磨川流域の治水対策の推進



## Ⅱ 各部及び管内 機関の取組み

# 八代地域の振興に向けた取組み

## 総務部における重点的な取組み

### <振興課>

#### ○市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の策定支援

- ◆ 熊本県版地方創生コンシェルジュ制度等に基づいた市町村の総合戦略策定支援
  - 市町村の総合戦略に係る推進会議への参画
  - 熊本県の総合戦略等との調整
  - 広域連携に向けた市町村間の意見交換や事業検討の場をコーディネート



#### ○ 県南広域本部フードバレー 構想推進戦略の着実な推進

- ◆ 食産業における中間加工者等（県南地域に限定）と最終製品製造者との商談会を本年9月に開催。
- ◆ 県南の「食」の認知度向上及び県南地域への誘客を図るため、県南の「食」の魅力を発信するキャンペーン展開予定。



#### ○ 広域的な地域振興・観光振興を推進するための体制整備と効果的な取組みの推進

- ◆ H26.7に設置された「くまもと県南広域観光連携推進会議」において、各構成機関が観光PR等の事業展開において情報共有等を実施。特に、今年5月に県南15市町村によって設立された「くまもと県南観光連携事業実行委員会」と足並みを揃え、県南地域全体の観光振興を推進。
- ◆ 今年八代港に10隻の外国船籍大型クルーズ船が寄港。寄港に際し、関係機関と連携・協力して、おもてなし等を実施。

#### ○ 八代地域の地域振興、観光振興の推進

- ◆ 地域づくり夢チャレンジ推進補助金を活用した地域づくりの推進



八代のみ	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (10月現在)
件数	9	4	8	18	14	8
交付決定額 (千円)	13,462	7,752	8,357	30,960	25,380	17,692

### <総務課>

#### ○ 県南広域本部体制下における円滑な業務の執行

- ◆ 危機管理体制の強化
  - 災害時における広域本部3振興局、管内市町村、関係機関との連携強化
  - 地震初動班の拡充、災害待機と水防待機の合同実施による災害対応力の強化
  - 八代地方災害対策本部・警戒本部の設置、運営の円滑化

### <収税課>

#### ○ 県南地域における税収の確保

- ◆ 個人県民税の徴収向上対策
  - 県として、市町村の税収の確保、市町村の業務効率化、スキルアップ等について支援。→県南15全市町村を対象とした併任徴収の取組み（共同催告、捜索、公売会、徴取引継ぎ）
- ◆ 滞納整理の推進
  - 催告による自主納付の推進、熊本地震の被災者に配慮した適正な滞納整理



# 保健福祉環境部における重点的な取組み

## 地域保健医療の推進

地域の特性や実情に即した保健医療サービスの向上を図るため、地域の共通の指針を定め推進するための「第6次八代地域保健医療計画」を関係機関と協力して推進する。

施策の柱は、次の4項目。

- ①子どもの頃からの生涯を通じた健康づくり
- ②安心して暮らせる保健医療提供体制の整備
- ③保健医療関係の人材の確保と資質の向上
- ④健康危機管理に対応した体制づくり



## 健康危機管理対策

### ○健康危機管理マニュアルに基づいた体制整備

地域健康危機管理推進会議等を開催し、関係機関との円滑な協力・連携を確保する。また、緊急時に迅速な対応ができるよう訓練・研修会を実施し、関係職員の資質向上を図る。

### ○新型インフルエンザ対策

関係機関との情報共有・連携を行い、「熊本県新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づく八代地域医療計画」に基づき、的確・迅速な対応ができる体制づくりを推進する。

## 食の安全安心対策

### ○食品取扱施設の監視指導及び食品検査の実施

食の安全安心に係る施策として、消費者の意見を反映しながら、食中毒防止事故対策として「平成28年度熊本県食品衛生監視指導計画」に基づき、食品取扱施設の監視指導及び食品検査を実施する。

### ○「食の安全安心フェスタ」の開催

民間・関係行政機関との協働による八代地域食の安全安心フェスタを開催し、地域住民を中心とした消費者への食の安全安心及び食育を推進する。



## 健康づくり対策

### ○精神保健対策の推進

精神障害者やその家族が地域で安心して生活できるよう、関係機関との会議及び検討会を開催し、相談支援体制や連携の充実を図る。

### ○フッ化物応用によるむし歯予防対策の推進

乳幼児期及び学齢期に効果的なむし歯予防対策であるフッ化物応用の普及に向け、関係機関と連携し環境整備を図る。





# 農林水産部における重点的な取組み

## 平成28年度の重点目標(稼げる農林水産業の更なる加速化)

### ○農地集積の推進

八代地域においては、担い手の減少による農地の遊休化が懸念され、担い手への農地集積及び効率的な利用が求められている。

このため、「ふるさと・農地未来運動八代地域本部」を核に、「熊本県農地中間管理機構」と連携しながら、地区を指定して担い手への農地集積を推進する。

※指定地区:平成25年度 平和、野津地区  
平成26年度 北出、吉野地区  
平成27年度 鶴喰、鹿島地区  
平成28年度 松高、南鹿野地区 計8ヶ所



平坦地域の水田

### ○トマト生産におけるICT導入と出荷予測

八代地域は温暖な気候を利用して約480haもの広大な農地においてトマトが栽培される全国的でも有数の産地である。

さらに産地力を強化するため、施設内の温度、湿度、炭酸ガス、日射量などのデータを活用し、生産・出荷・指導の効率化などを行うためのシステムや正確な出荷量を市場に提供するための出荷予測システムを構築する。



複合環境測定装置

### ○農業基盤整備事業及び農地防災事業の推進

「農地集積、高生産性農業」を常に念頭に置きつつ、農業用水・農地などの農業資源の維持・向上を図ることで、「稼げる農業」を実現する。

- ・農業基盤整備事業(H28新規着手:貝洲地区)
- ・農地防災事業



排水不良地



排水改良済

### ○森林整備及び木材利活用の推進

間伐等の森林整備や森林経営計画策定の取組を支援し、森林資源の活用につなげる。

木材利活用のPRにつとめるとともに、木材の生産・加工に係る施設整備や木質バイオマス、木材輸出等の取組を支援する。



木材市場



木材生産

### ○新たな養殖の導入による漁家の収益向上

収益性の高いカキ類の養殖や色落ちしにくく価格の高いアオリ養殖を推進する。



マガキ

### ○アサリの漁獲量回復のための取組みの推進

資源管理に対する漁業者の意識啓発を行いながら、漁場管理や稚貝採集ネットの設置の推進により増産を図る。



アオリ



## 土木部における重点的な取り組み

### 交通・物流拠点の整備(アクション・アジア)

- 八代港では、大型化する国際コンテナ貨物船に対応した、フルガントリークレーンとコンテナヤードの整備拡張を行う。

また、県内各港湾の航路及び泊地で発生する浚渫土砂の受け入れ先として、大築島北地区の築堤を整備する。



八代港

### 洪水から生命財産を守る社会資本の整備(災害に負けない熊本)

- 大鞘川の浸水被害の軽減を図るため、総合流域防災事業として、農林水産部と連携を図りながら、築堤、河道掘削、橋梁架替等の整備を進める。



大鞘川

### 安心安全な道路の確保(地域力を高める)

- 二見田浦線は、当該地区の生活幹線道路であるとともに、水俣・芦北地域の振興を目的としたシーサイドロード整備事業に位置づけられる路線。自動車の離合が困難な状況を解消し、地域住民の安心で安全な生活を確保するため、平成21年度から事業に着手。平成26年8月に埋立免許を取得し、工事施工中。



二見田浦線

- 国道445号は、当該地区の生命線となっている幹線道路であるとともに、五木・五家荘方面の主要観光道路。車道の拡幅により安全で快適な通行を確保するため、昭和62年から5工区に分け道路改良事業を実施中。平成27年3月に泉・相良バイパス(八代管内)が完了し、現在、五家荘工区、椎原工区を施工中。



国道445号



## 八代港管理事務所における重点的な取組み

### ○ 外港-14m供用岸壁の適切な利用調整

工事等により、大型船の荷役は、一定のルールの下、-14m岸壁の共同利用を実施中。大型クルーズ船も同岸壁を利用する事から、寄港にあたっては、貨物船優先を基本としながら、客船誘致側など各方面の関係者を含め、慎重に利用調整を行っていく。

### ○ 入出港船舶に関するテロ行為等防止のための国際埠頭保安施設の適切な維持管理及び制限区域の厳重な出入り管理

偽造防止対策が施された身分証明書の発行、緊急連絡網の整備、保安訓練等を実施するとともに、日頃から警備会社等関係者との連携を密にして、引続き制限区域内の出入り管理の徹底を図る。

### ○ 港湾道路、上屋(倉庫)等の港湾施設の維持管理の充実強化

日常のパトロールの充実及び利用者からの情報収集等により、危険箇所等の早期発見に努め、県南広域本部土木部と連携しながら、施設全体の長寿命化に向けた適切な維持管理を図っていく。

### ○ コンテナターミナルの適正な維持管理

平成29年度のコンテナターミナル拡充強化に伴う取扱量の増加を見据えて、既存設備であるガントリークレーンやストラドルキャリア等の長寿命化に向け、細やかな維持管理を行う。



ガントリークレーン



ストラドルキャリア



八代外港コンテナターミナル

### 今後の計画

八代港は、本県の産業を支える物流の拠点港であり、アジア全体を視野に入れた多目的国際ターミナル港としての位置づけのもと、県内最大の港湾として、港湾施設の適切な維持管理を行い、港湾施設使用の円滑化と使用料収入の確保及び経費の節減を図ることとしている。

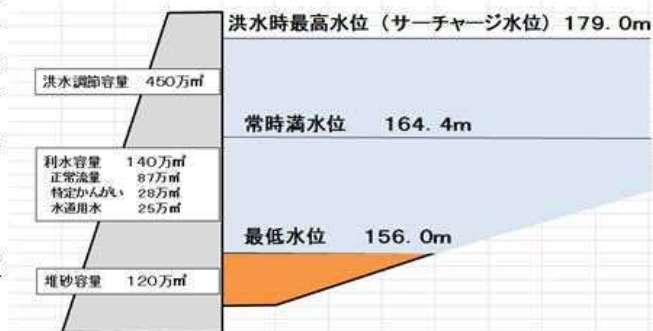
## 氷川ダム管理所における重点的な取組み

### 安全安心なダム管理

- 氷川ダムは、洪水調節と上水道用水の補給、かんがい用水の補給を目的として昭和50年に完成した多目的ダムで、平成22年には、より安全な洪水調節と下流の河川環境の保全を目的に再開発事業(堤体の2mかさ上げ)が完了した。

現在、建設当時から約40年が経過し、老朽化したダム管理施設の更新を順次行っている。

氷川ダム貯水池容量配分図



### 地域に開かれたダム管理

ダム周辺及び施設をレクリエーションの場として開放すると共に、地域の市民団体と連携し、環境学習の場として利用している。

高校生による水質浄化作業



親子による水質検査





# Ⅲ データ

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 面積

#### ■土地利用

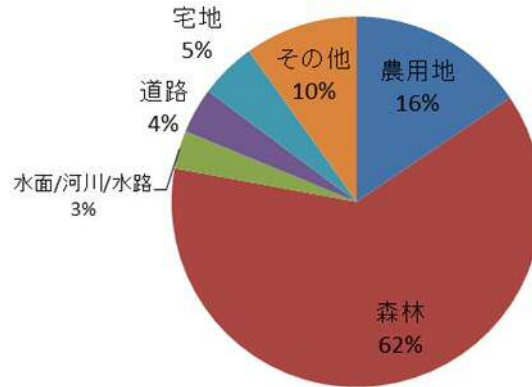
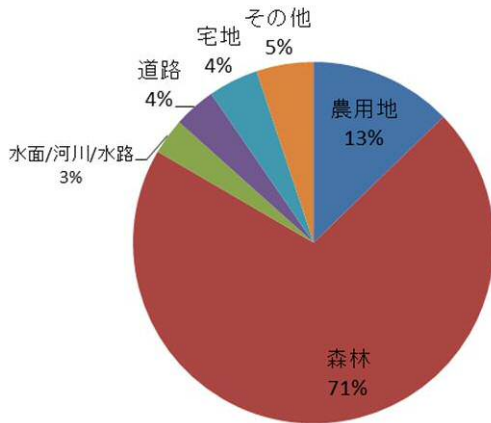
（資料）土地利用現況把握調査（熊本県地域振興課、平成 26 年 10 月 1 日現在）

（単位：ha）

	農用地	森林	水面・河川・水路	道路	宅地	その他	計
管内計	9,117	50,495	2,297	2,697	3,201	3,666	71,472
八代市	7,491	50,149	2,038	2,360	2,880	3,218	68,136
氷川町	1,626	346	259	337	320	448	3,336
県計	114,998	462,149	24,562	29,392	36,579	73,252	740,932

【管内の土地利用】

【県の土地利用】



○八代地域の面積は、71,472ha で、県面積の約 10%を占めている。

### 人口

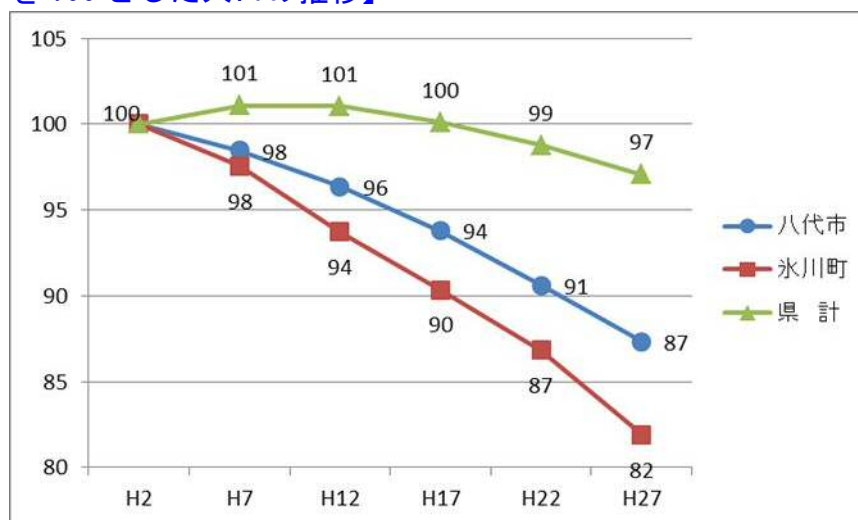
#### ■人口の推移・推計

（資料）国勢調査

（単位：人）

	H2	H7	H12	H17	H22	H27
管内計	160,605	157,999	154,380	150,118	144,981	139,466
八代市	145,959	143,712	140,655	136,886	132,266	127,472
氷川町	14,646	14,287	13,725	13,232	12,715	11,994
県計	1,840,326	1,859,793	1,859,344	1,842,233	1,817,426	1,786,170

【平成 2 年を 100 とした人口の推移】



○平成 27 年の管内人口の県人口に占める割合は約 7.8%である。

○平成 2 年人口と比較すると、県全体では 3%程度の減少であるが、八代市、氷川町とも 1 割以上減少している。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■年齢3区分別人口

（資料）国勢調査（単位：人）

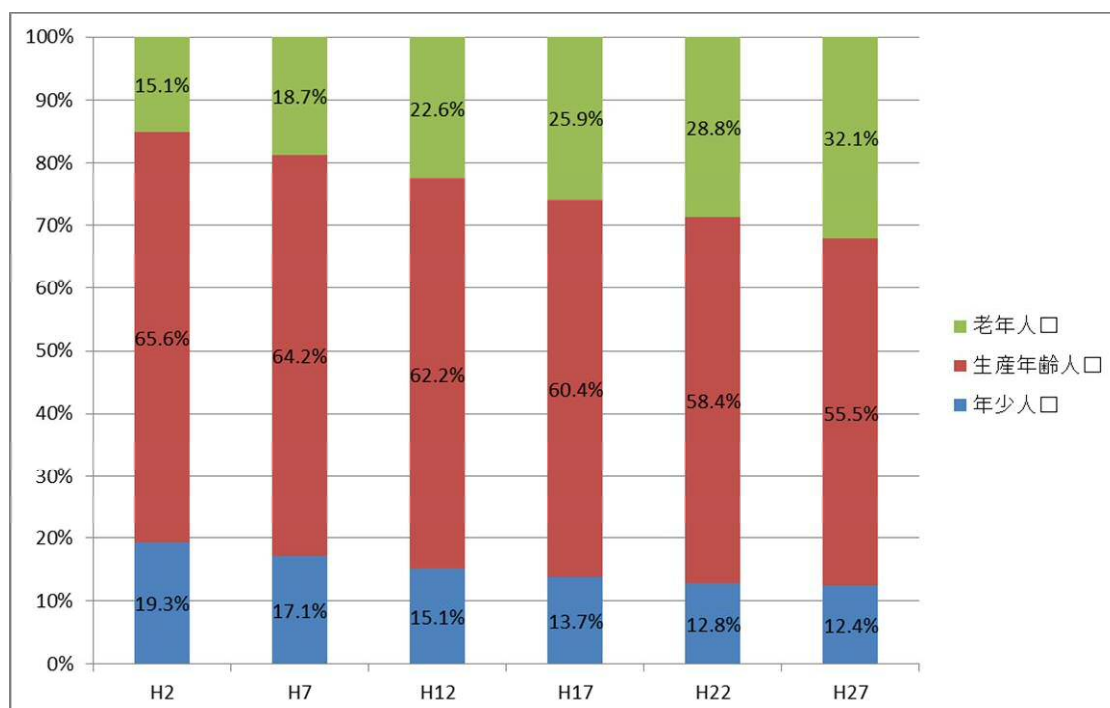
		H2	H7	H12	H17	H22	H27
年少人口 (0～14歳)	管内計	31,033	26,939	23,368	20,585	18,368	17,213
	八代市	28,131	24,496	21,347	18,876	16,842	15,775
	氷川町	2,902	2,443	2,021	1,709	1,526	1,438
生産年齢人口 (15～64歳)	管内計	105,236	101,377	96,012	90,477	83,866	77,091
	八代市	95,834	92,388	87,621	82,622	76,585	70,779
	氷川町	9,402	8,989	8,391	7,855	7,281	6,312
老年人口 (65歳以上)	管内計	24,212	29,530	34,919	38,798	41,276	44,567
	八代市	21,870	26,675	31,606	35,137	37,378	40,424
	氷川町	2,342	2,855	3,313	3,661	3,898	4,143
管内計		160,481	157,846	154,299	149,860	143,510	138,871
年少人口比率		19.3%	17.1%	15.1%	13.7%	12.8%	12.4%
生産年齢人口比率		65.6%	64.2%	62.2%	60.4%	58.4%	55.5%
高齢化率		15.1%	18.7%	22.6%	25.9%	28.8%	32.1%

※年齢不詳者を数に含んでいないため、16ページ「人口」の管内計と一致しない。

### ■熊本県全体

	H2	H7	H12	H17	H22	H27
年少人口比率	19.3%	17.3%	15.5%	14.3%	13.8%	13.6%
生産年齢人口比率	65.2%	64.3%	63.1%	61.8%	60.5%	57.6%
高齢化率	15.5%	18.3%	21.3%	23.7%	25.7%	28.8%

### ■管内の年齢3区分別人口推移



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■ 65歳以上人口の推移

（資料）国勢調査

※（ ）内は高齢化率（年齢3区分人口総数に占める65歳以上人口の比率）

（単位：人）

	H2	H7	H12	H17	H22	H27
管内計	24,212 (15.1%)	29,530 (18.7%)	34,919 (22.6%)	38,798 (25.9%)	41,276 (28.8%)	44,567 (32.1%)
八代市	21,870 (15.0%)	26,675 (18.6%)	31,606 (22.5%)	35,137 (25.7%)	37,378 (28.6%)	40,424 (31.8%)
氷川町	2,342 (16.0%)	2,855 (20.0%)	3,313 (24.1%)	3,661 (27.7%)	3,898 (30.7%)	4,143 (34.8%)
県計	284,017 (15.5%)	340,924 (18.3%)	396,020 (21.3%)	437,244 (23.7%)	463,266 (25.5%)	511,484 (28.8%)

### ■ 75歳以上人口の推移

（資料）国勢調査

※（ ）内は高齢化率（年齢3区分人口総数に占める75歳以上人口の比率）

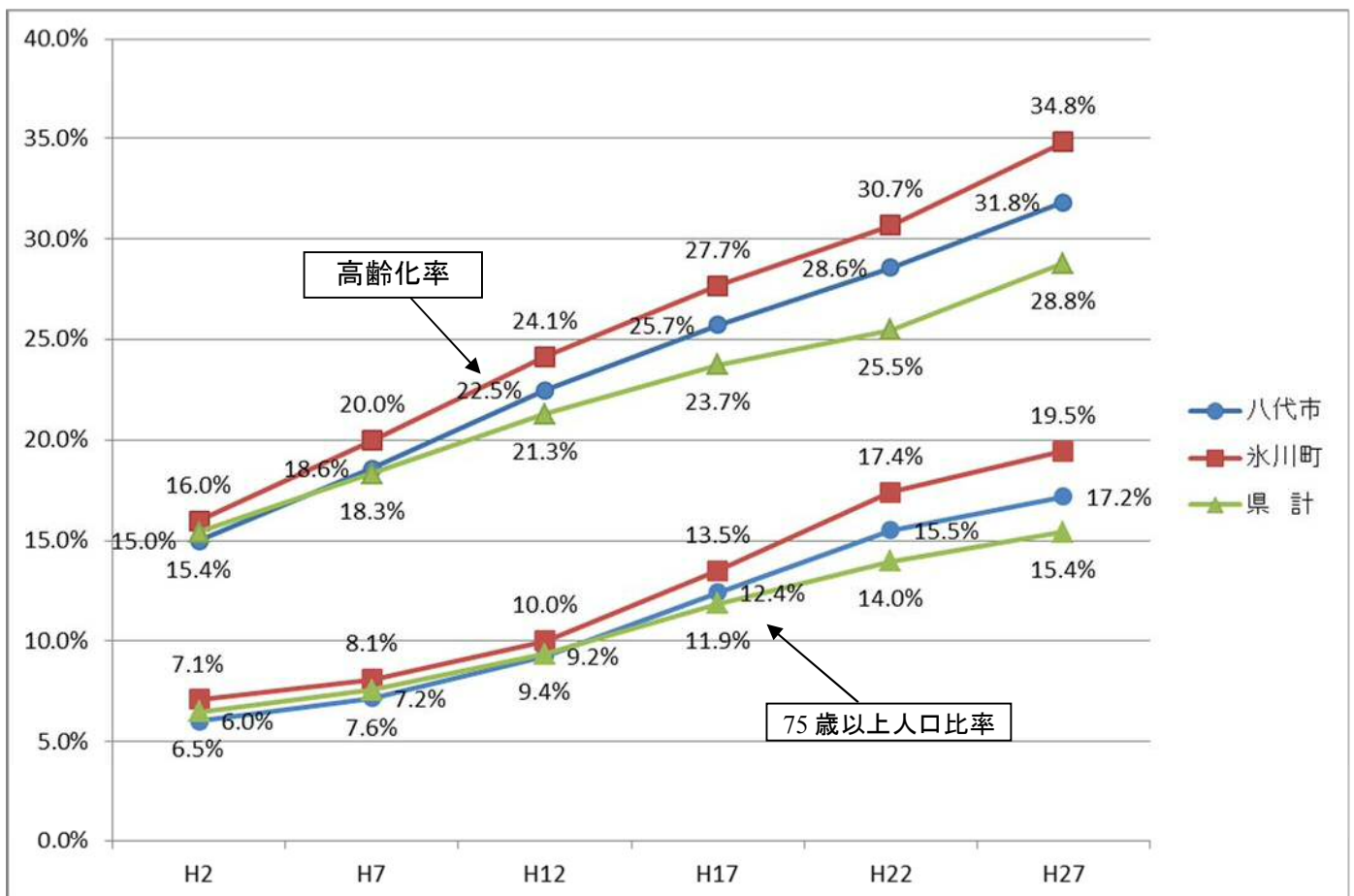
（単位：人）

	H2	H7	H12	H17	H22	H27
管内計	9,792 (6.1%)	11,428 (7.2%)	14,374 (9.3%)	18,762 (12.5%)	22,486 (15.7%)	24,145 (17.4%)
八代市	8,754 (6.0%)	10,271 (7.2%)	13,000 (9.2%)	16,976 (12.4%)	20,275 (15.5%)	21,831 (17.2%)
氷川町	1,038 (7.1%)	1,157 (8.1%)	1,374 (10.0%)	1,786 (13.5%)	2,211 (17.4%)	2,314 (19.5%)
県計	118,958 (6.5%)	140,642 (7.6%)	174,117 (9.4%)	218,699 (11.9%)	253,926 (14.0%)	273,939 (15.4%)

### ■ 高齢化率、75歳以上人口比率の推移

※高齢化率（%）＝（65歳以上の人口／全人口）×100

※75歳以上人口比率（%）＝（75歳以上の人口／全人口）×100



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 福祉医療

#### ■要介護認定の状況（第1号被保険者：65歳以上）

（資料）熊本県認知症対策・地域ケア推進課

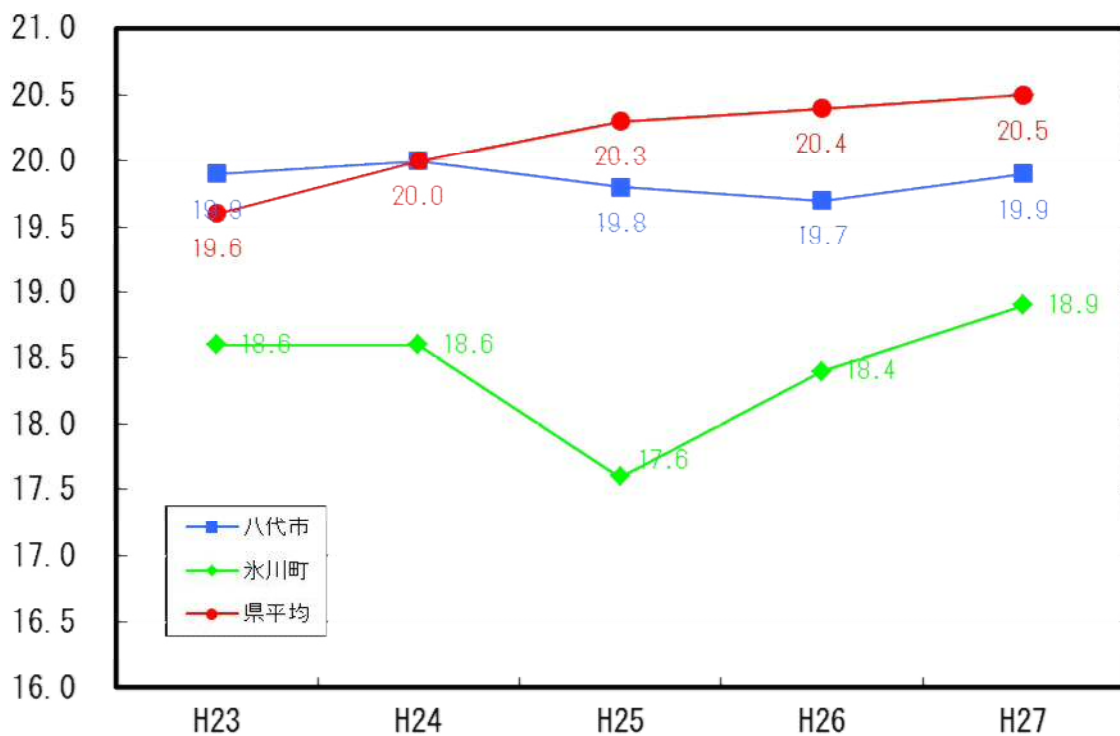
※（ ）内は認定率（第1号被保険者に占める65歳以上の認定者の割合）

（単位：人）

	H23	H24	H25	H26	H27
八代市	7,487 (19.9%)	7,665 (20%)	7,824 (19.8%)	7,961 (19.7%)	8,092 (19.9%)
氷川町	708 (18.6%)	724 (18.6%)	711 (17.6%)	759 (18.4%)	786 (18.9%)
管内計	8,195 (19.8%)	8,389 (19.9%)	8,535 (19.6%)	8,720 (19.5%)	8,878 (19.8%)
県計	90,859 (19.6%)	94,659 (20%)	100,041 (20.3%)	103,196 (20.4%)	104,784 (20.5%)

#### ■認定率の推移

※認定率（%）＝（要介護認定者数／第1号被保険者数）×100



○平成25年以降の認定率は八代市、氷川町いずれも県平均を下回っている。  
○平成23年と比較すると、県平均は0.9%上昇し、管内においては八代市は横ばい、氷川町は0.3%とわずかに上昇している。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■老人福祉施設、介護保険施設の整備状況

（資料）熊本県推計人口調査、熊本県高齢者支援課

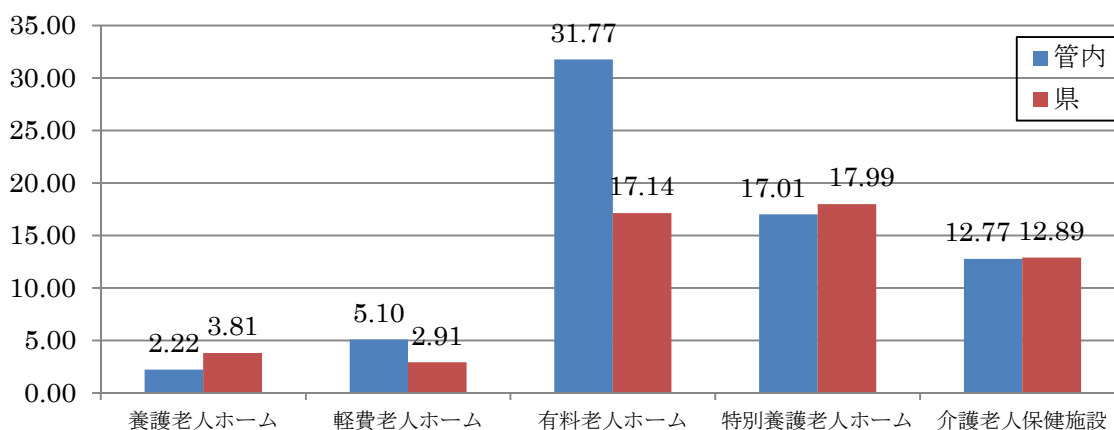
※人口（平成27年10月1日現在）※施設数及び定員（平成28年2月1日現在）

（定員 単位：人）

	高齢者人口 (65歳以上)	老人福祉施設						介護保険施設			
		養護老人ホーム		軽費老人ホーム		有料老人ホーム		介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		介護老人保健施設	
		施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
八代市	40,883	2	100	4	230	56	1,356	14	617	8	501
氷川町	4,220	0	0	0	0	3	77	4	150	1	75
管内計	45,103	2	100	4	230	59	1,433	18	767	9	576
県計	513,885	37	1,960	36	1,497	375	8,807	215	9,247	97	6,625

### ■老人福祉施設、介護保険施設の整備率

※整備率（％）＝（定員／高齢者人口）×1000 小数点第3位四捨五入



○管内の養護老人ホームの整備率は、県全体の整備率を下回っているが、軽費老人ホーム、有料老人ホームは県の整備率を大きく上回っている。

○管内の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設の整備率は県の整備率とほぼ同じである。

### ■障害者支援施設、児童養護施設、乳児院、保育所の設置数

（資料）熊本県障がい者支援課・子ども家庭福祉課・子ども未来課

※障害者支援施設数（平成28年4月現在）※児童養護施設・乳児院・保育所（平成28年4月現在）

	障害者支援施設 (短期入所)	児童養護施設	乳児院	保育所
八代市	2	1	1	56
氷川町	2	0	0	6
管内計	4	1	1	62

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■保健医療施設

（資料）施設数及び病床数：熊本県医療政策課 医療施設一覧（H28.4.1 現在）  
人口：熊本県統計調査課 H28.4.1 現在の人口と世帯数（単位：施設）

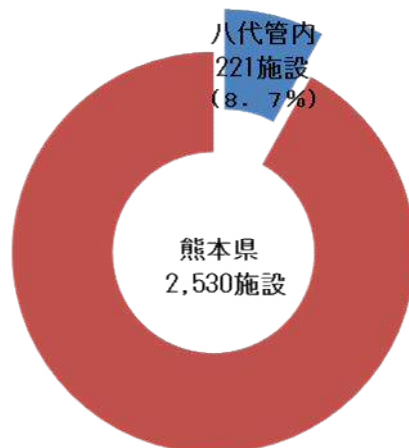
	施設数				病床数				人口
	病院	一般診療所	歯科診療所	計	病院		一般診療所		
					うち療養病床		うち療養病床		
八代市	12	123	69	204	2,354	517	487	57	126,741
氷川町	1	10	6	17	80	44	35	0	11,919
管内計	13	133	75	221	2,434	561	522	57	138,660
熊本県	214	1,465	851	2,530	34,917	9,225	5,145	544	1,778,955

### ■人口1万人あたり施設数

（単位：施設）

	八代管内	熊本県	人口1万人あたり施設数	
			管内	県
病院・一般診療所	146	1,679	10.60	9.43
歯科診療所	75	851	5.41	4.80
合計	221	2,530	16.00	14.24

### 【県内に占める八代管内の保健医療施設の割合】



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 産業と雇用

#### ■産業別就業人口

（資料）平成22年国勢調査  
（単位：人）

	第1次産業			第2次産業			第3次産業	分類不能	総計
	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	サービス業他		
管内計	9,514	165	272	38	5,443	9,014	39,455	1,405	65,306
八代市	7,816	160	271	37	4,924	8,391	36,377	1,285	59,261
氷川町	1,698	5	1	1	519	623	3,078	120	6,045
県計	76,721	2,782	5,504	447	65,882	105,570	555,227	22,111	834,244

【管内の産業別人口の構成比】



【県内の産業別人口の構成比】

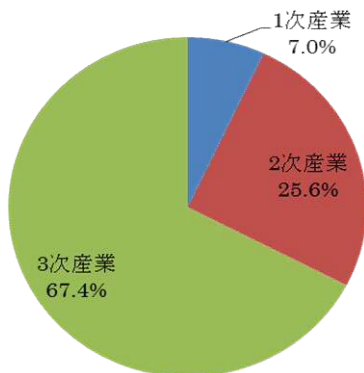


#### ■産業別総生産額

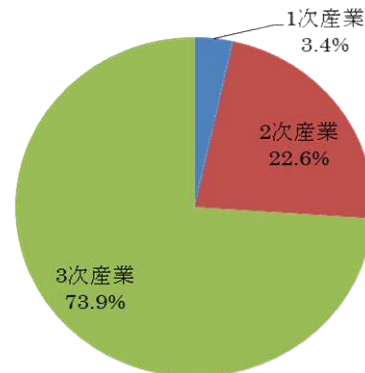
（資料）平成25年度市町村民所得推計  
（単位：百万円）

	第1次産業			第2次産業		第3次産業	関税等加除	総計
	農業	林業	水産業	鉱工業	建設業	サービス業他		
管内計	27,609	1,005	192	77,921	28,266	278,995	3,504	417,492
八代市	24,026	997	190	77,480	25,848	262,273	3,308	394,122
氷川町	3,583	8	2	441	2,418	16,722	196	23,370
県計	164,816	11,003	14,102	886,221	364,427	4,086,133	46,782	5,573,484

【管内の産業別構成比】



【県内の産業別構成比】



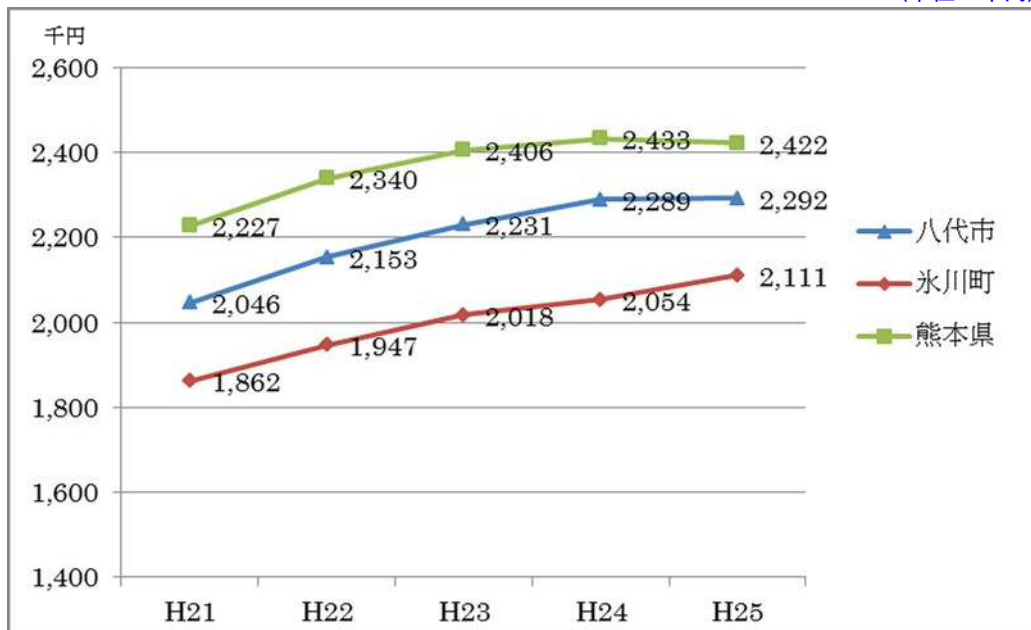
※産業別構成比は関税等加除前のもの



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

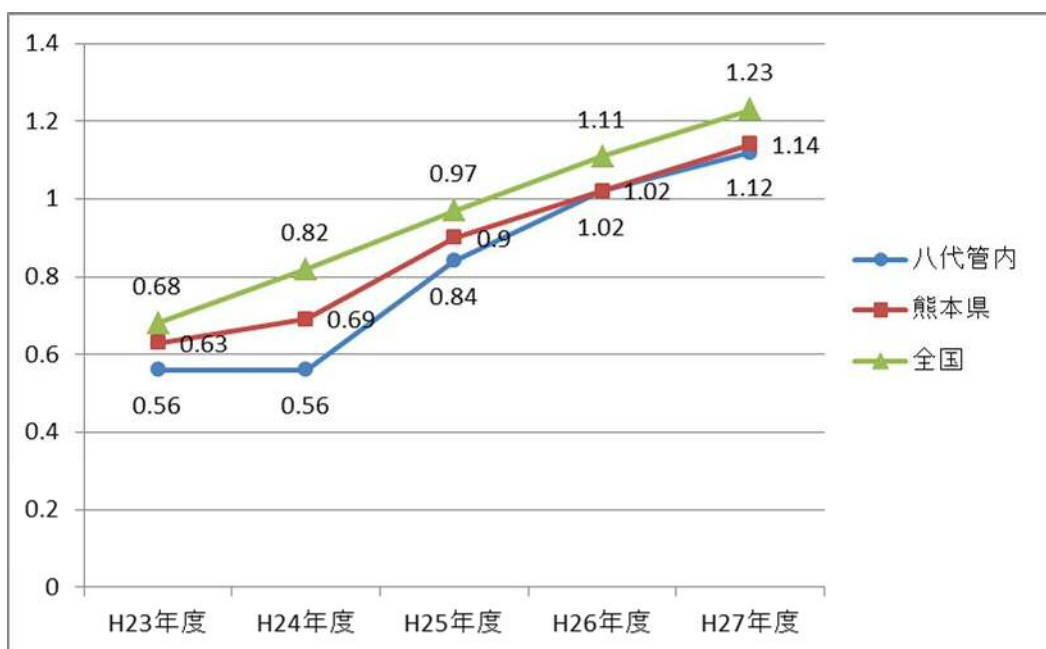
### ■一人当たりの所得

（資料）市町村民所得推計  
（単位：千円）



### ■有効求人倍率の推移

（資料）くまもと職業安定業務月報

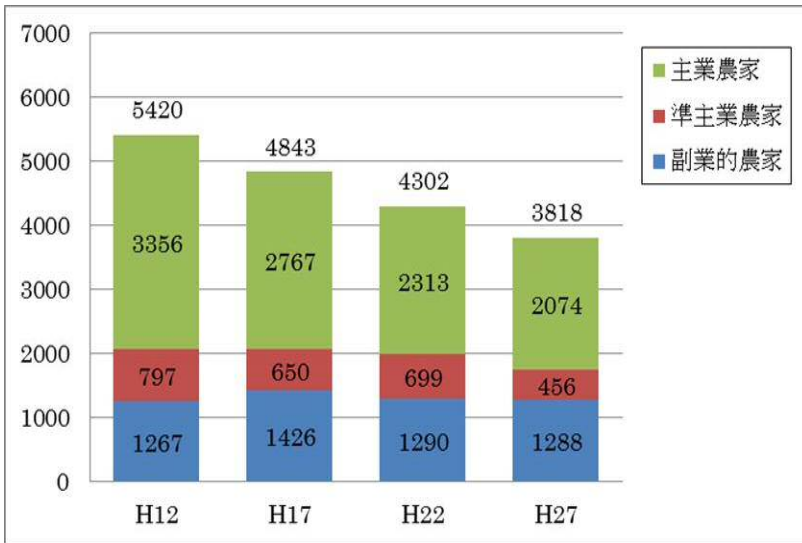


## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 農業

#### ■主副業別農家数（販売農家）

（資料）農林業センサス



○主業農家とは…  
農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家

○準主業農家とは…  
農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家

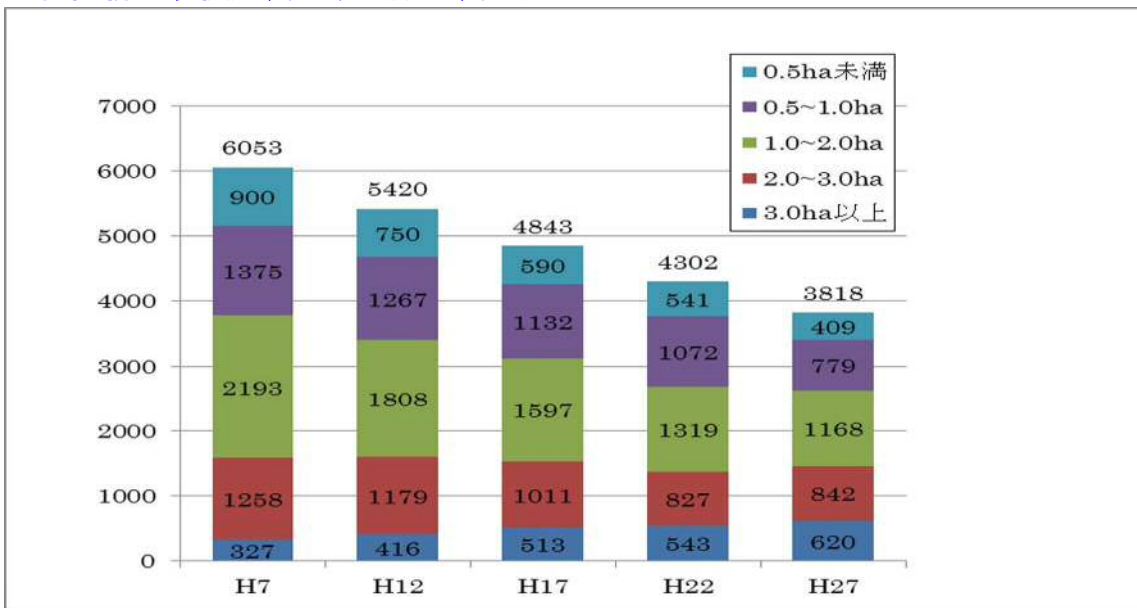
○副業的農家とは…  
65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家（主業農家、準主業農家以外の農家）

○販売農家とは…  
経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家（主業農家＋準主業農家＋副業的農家）

○販売農家数は減少しており、平成27年には平成22年より394戸減少し、3,908戸となっている。  
○主業農家は239戸減少し、販売農家に占める割合は54.3%である。

#### ■経営耕地規模別農家数（販売農家）

（資料）農林業センサス

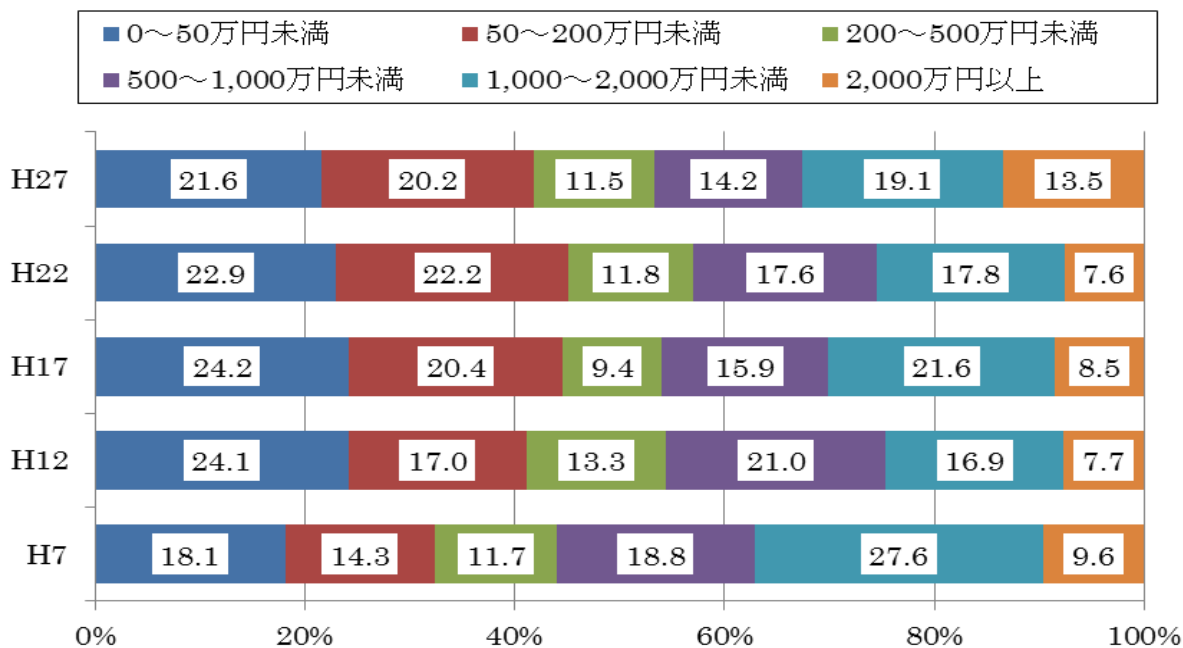


○経営規模別にみると、2ha未満の各階層で減少し、特に1ha未満の販売農家の減少が平成22年度から平成27年度の間、25%以上減少と大きくなっている。  
○一方で、2ha以上の農家は増加しており、3ha以上の農家の割合は平成22年の12.6%から平成27年には16.2%となった。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■販売額別の農家構成（販売農家）

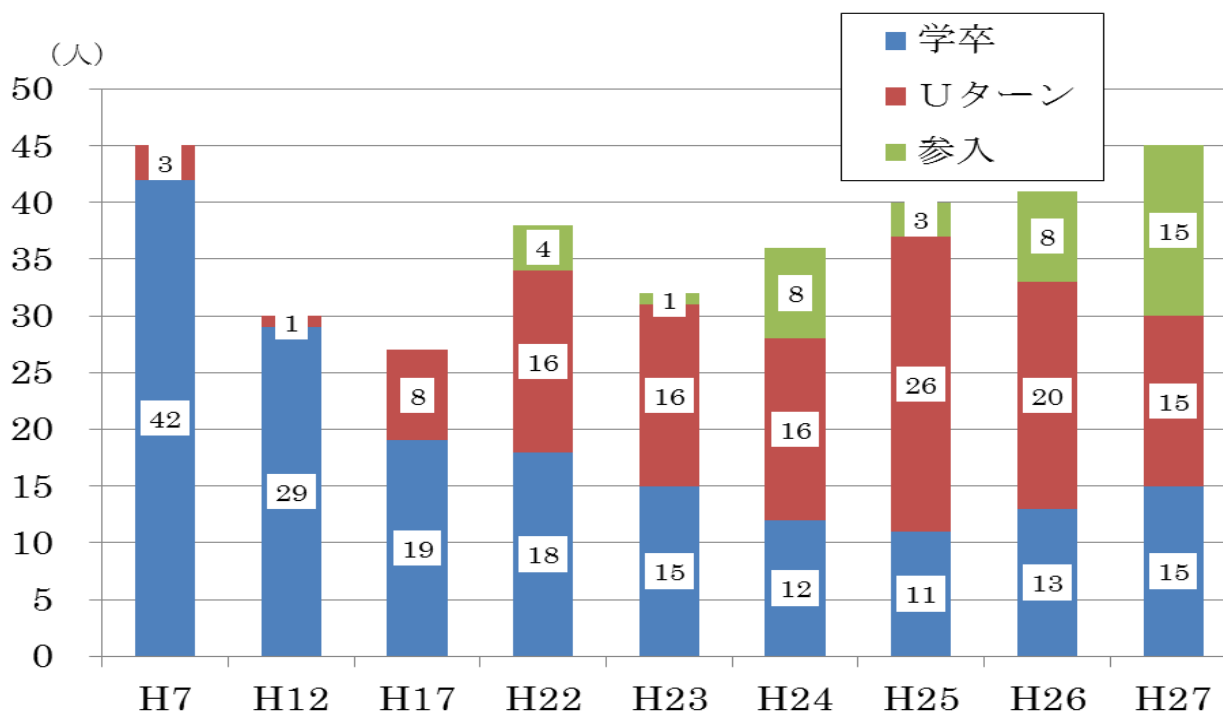
（資料）農林業センサス



- ・平成7年から平成27年までの構成割合の変化を見ると、農産物販売金額200万円未満の割合が32.4%から41.8%に増加したのに対し、1000万円～2000万円未満の割合は27.6%から19.1%に減少した。
- ・販売金額2,000万円以上の割合が9.6%から13.5%に増加した。

### ■新規就農者数

（資料）熊本県農林水産部、県農業会議

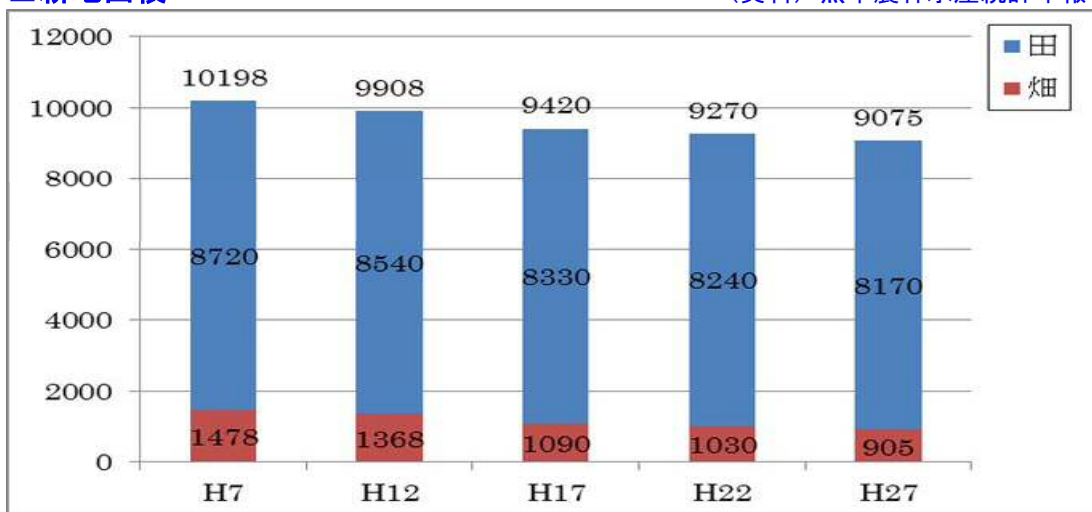


○平成27年は45人が就農し、学卒、Uターン、参入による就農の割合が同数となっている。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■耕地面積

（資料）熊本農林水産統計年報（九州農政局）



○八代地域の耕地面積は9,075haであり、内訳は田が8,170ha、畑が905haとなっており、田が全体の90%を占めている。

### ■主要品目の生産状況

（資料）H27 作物統計（農林水産省）、H26 年産熊本県主要野菜生産状況調査、H26 熊本県産果樹振興実績書、H26 花き生産実績、H27 畜産統計

区分	作付面積・飼養頭数			収穫量等	県計	県に占める割合 (%)
	数量(管内) (ha, 頭)	数量(県計) (ha, 頭)	県に占める割合 (%)			
水稻	4,745	35,600	13.3%	23,630t	178,000t	13.3%
小麦	347	4,900	7.1%	889t	13,600t	6.5%
メロン	92	661	13.9%	3,200t	17,724t	18.1%
トマト	492	1,163	42.3%	59,324t	129,148t	45.9%
イチゴ	88	270	32.6%	3,124t	9,701t	32.2%
冬キャベツ	280	383	73.1%	10,330t	13,471t	76.7%
冬レタス	155	397	39.0%	5,502t	11,337t	48.5%
ショウガ	73	153	47.7%	3,338t	6,538t	51.1%
バレイショ	175	339	51.6%	4,799t	8,565t	56.0%
ブロッコリー	370	406	91.1%	3,420t	3,862t	88.6%
なし	85	462	18.4%	2,142t	9,284t	23.1%
晩白柚	67	77	87.0%	870t	965t	90.2%
カラー	3.2	9.3	34.4%	1,270 千本	2,115 千本	60.0%
トルコギキョウ	5.2	39.7	13.1%	1,410 千本	8,743 千本	16.1%
茶	140.3	1,040	13.5%	84t	1,098t	7.7%
いぐさ	651	687	94.8%	7,226t	7,630t	94.7%
乳用牛	1,064	44,853	2.4%	7,174t	247,557t	2.9%

注1) なし、晩白柚の収穫量等は生産量

注2) カラー、トルコギキョウの収穫量等は出荷数量

注3) 乳用牛の生産量等は生乳生産量

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 八代地域農業の概要

（資料）熊本県県南広域本部農業普及・振興課

項 目	年次	単位	熊本県	管内			県に占める割合(対比)	県内順位(11管内)
					八代市	氷川町		
農家戸数(総数)	H27	戸	41,482	3,908	3,230	678	9%	6
農家戸数(販売農家)	H27	戸	40,103	3,818	3,160	658	10%	5
主業農家	H27	戸	13,836	2,074	1,664	410	15%	2
準主業農家	H27	戸	6,721	456	377	79	7%	10
副業的農家	H27	戸	19,546	1,288	1,119	169	7%	10
農業就業人口(販売農家)	H27	人	102,503	10,540	8,648	1,892	10%	3
基幹的農業従事者数	H27	人	65,209	7,737	6,237	1,500	12%	3
認定農業者数	H27	人	11,131	1,772	1,340	431	16%	1
エコファーマー認定農家数	H27	人	7,126	972	715	257	14%	3
耕地面積(けい畔含む)	H27	ha	114,100	9,070	7,450	1,620	8%	7
田	H27	ha	70,000	8,170	6,760	1,410	12%	3
畑	H27	ha	44,100	905	690	215	2%	11
農業産出額	H18	百万円	298,400	34,240	28,430	5,810	11%	
耕種	H18	百万円	206,500	29,570	24,640	4,930	14%	
米	H18	百万円	38,600	4,740	3,880	860	12%	
野菜	H18	百万円	97,500	18,610	16,130	2,480	19%	
果実	H18	百万円	34,300	1,370	510	860	4%	
工芸作物	H18	百万円	12,900	3,700	3,270	430	29%	
その他	H18	百万円	23,200	1,150	850	300	5%	
畜産	H18	百万円	87,300	710	270	440	1%	
加工農産物	H18	百万円	4,600	3,960	3,520	440	86%	
生産農業所得	H18	百万円	104,300	14,350	11,970	2,380	14%	
1戸当たり生産農業所得	H18	千円	1,405	2,321	2,285	2,522	(165%)	
作付面積・飼養頭数								
トマト	H26	ha	1,163	492	470	22	42%	1
メロン	H26	ha	661	92	90	2	14%	2
イチゴ	H26	ha	270	88	35	53	33%	1
冬キャベツ	H26	ha	383	280	201	79	73%	1
冬レタス	H26	ha	397	155	153	2	39%	1
ショウガ	H26	ha	153	73	72	1	48%	1
パレিশヨ	H26	ha	389	175	143	32	45%	1
ブロッコリー	H26	ha	406	370	340	30	91%	1
なし	H26	ha	462	85	1	84	18%	3
温州みかん	H26	ha	2,496	47	36	11	2%	6
晩白柚	H26	ha	77	67	49	18	87%	1
不知火類	H26	ha	794	11	8	3	1%	6
水稻	H27	ha	178,000	23,630	20,500	3,130	13%	1
小麦	H27	ha	16,200	1,126	598	528	7%	6
茶	H27	ha	1,040	140	140	0	13%	3
葉たばこ	H27	ha	1,201	42	33	9	3%	8
キク	H26	ha	85	4.4	3.8	0.6	5%	6
カラー	H26	ha	9	3.2	2.4	0.8	36%	2
トルコギキョウ	H26	ha	40	5.2	4.4	0.9	13%	3
ユリ	H26	ha	10	3.3	2.0	1.3	33%	1
アリアム	H26	ha	5	0.8	0.8	0.1	16%	3
いぐさ	H26	ha	687	651	567	84	95%	1
ホールクropp用イネ	H27	ha	6,987	711	325	386	10%	4
飼料用米	H27	ha	1,296	422	422	0	33%	1

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 農地基盤整備

#### ■農地の整備状況

（資料）平成 25 年度農地整備状況調査

市町名	地目	農振農用地 (ha)	整備済面積 (ha)	整備率 (%)
八代市	水田	5,955.5	4,808.3	80.7
	畑	198.0	12.0	6.1
	樹園地	196.0	0	0
	合計	6,349.5	4,820.3	75.9

市町名	地目	農振農用地 (ha)	整備済面積 (ha)	整備率 (%)
氷川町	水田	1,274.2	1,153.3	90.5
	畑	69.0	0	0
	樹園地	316.9	0	0
	合計	1,660.1	1,153.3	69.5

	地目	農振農用地 (ha)	整備済面積 (ha)	整備率 (%)
合計	水田	7,229.7	5,961.6	82.5
	畑	267.0	12.0	4.5
	樹園地	512.9	0	0
	合計	8,009.6	5,973.6	74.6

○管内の水田については、区画整理(用排水分離済み)が完了しているのは、5,962ha で、82.5% の整備率となっている。(県全体の水田の整備率 70.6%)

#### ■経営体育成基盤整備事業完了地区の集積実績

（資料）熊本県南広域本部農地整備課

集積状況	事業実施前 (ha)		事業完了後 (ha)		担い手集積率 (%)	
	受益面積	担い手集積面積	受益面積	担い手集積面積	事業実施前	事業完了後
新屋敷地区	22.70	6.50	22.70	10.80	28.63	47.58
第二西区	53.80	34.77	53.80	36.62	64.63	68.07
合計	76.50	41.27	76.50	47.42	53.95	61.99

※平成 15 年度以降完了地区

○近年は整備済みの地区における施設の老朽化に伴う更新や暗渠排水、客土等の農地の汎用化に取り組むとともに、併せて担い手への集積にも取り組んでいる。

また、経営体育成基盤整備事業完了地区の担い手の経営面積シェアが、54%から 62%まで増加している。

（参考：県全体の経営体育成基盤整備事業完了地区（43 地区）の担い手の経営面積シェアは、19%から 41%に増加）



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 農業用施設

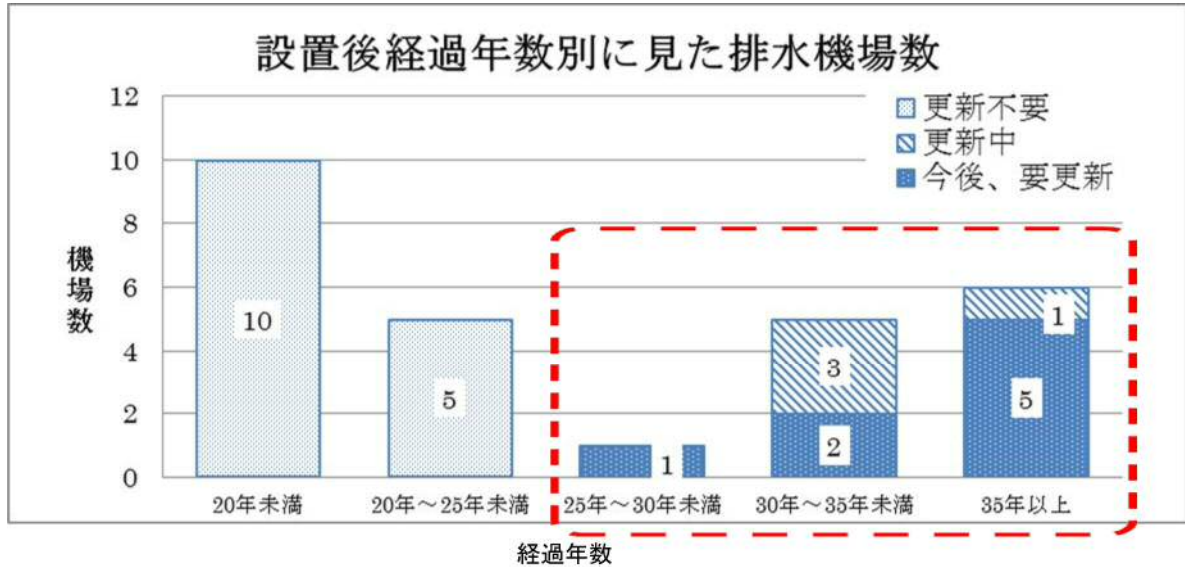
#### ■排水機場の現状

（資料）熊本県県南広域本部農林水産部農地整備課（平成 28 年 3 月現在）

（単位：箇所）

経過年数	0～4 年	5～9 年	10～14 年	15～19 年	20～24 年	25～29 年	30～34 年	35～39 年	40 年以上
排水機場数	2	3	2	3	5	1	5(3)	4	2(1)

（ ）は内数で、更新中の排水機場数



○管内の 44%の排水機場が設置してから 25 年以上となり、更新時期を迎えています。



老朽化した排水機エンジン



排水機場

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

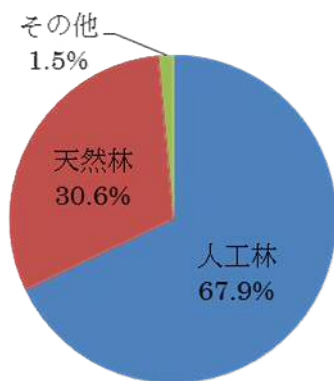
### 林業

#### ■人工林・天然林別面積（民有林）

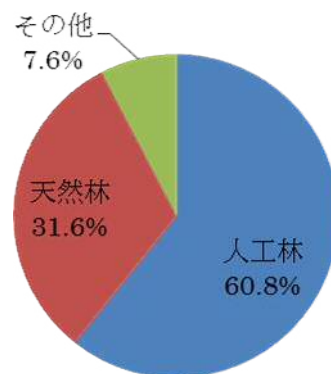
（資料）平成 26 年度熊本県林業統計要覧  
（単位：ha）

	人工林	天然林	その他	計
八代市	27,393	12,295	573	40,261
氷川町	132	103	29	264
管内計	27,525	12,398	602	40,525
県計	241,931	125,833	30,412	398,176

【管内の人工・天然林別面積】



【県内の人工・天然林別面積】



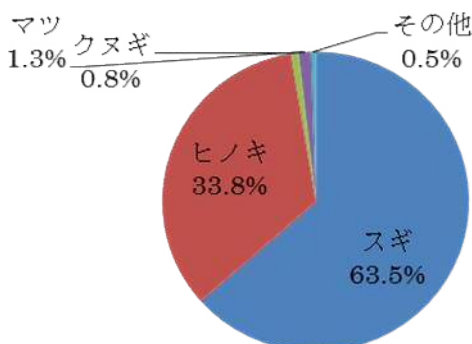
○八代地域の人工林面積（民有林）は 27,574ha で管内民有林の 68%を占め、人工林の割合が高い。（全県の人工林率 61%）

#### ■人工林の樹種別面積（民有林）

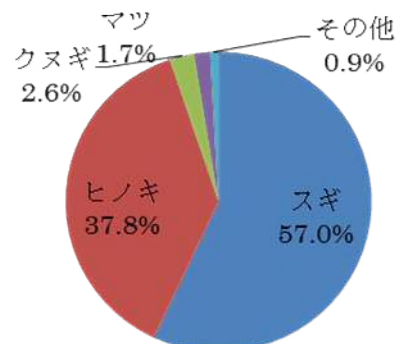
（資料）熊本県民有林資源調査書（平成 28 年 4 月 熊本県森林整備課）  
（単位：ha）

	スギ	ヒノキ	クヌギ	マツ	その他	計
八代市	17,424	9,285	231	356	146	27,442
氷川町	84	47	0	0	0	132
管内計	17,508	9,332	231	356	146	27,574
県計	137,957	91,610	6,284	4,098	2,157	242,106

【管内の樹種別面積】



【県内の樹種別面積】





## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■林業就業者数の推移

（資料）国勢調査  
（単位：人）

	S60	H2	H7	H12	H17	H22
管内計	409	253	184	168	99	165
県計	4,472	3,589	3,009	2,405	1,655	2,782

※ 国勢調査では、林業就業者は、9月末1週間に主として、林業に従事した者とされている。

「H17年以前」、「H22年」、「H27年」は、それぞれ統計調査方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。

### ■森林整備の実施状況

（資料）熊本県林業統計要覧（平成28年6月 県農林水産部）

#### 【造林実績】

（単位：ha）

区分	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	52	121	127	97	52
八代市	52	121	127	97	52
氷川町	-	-	-	-	-
県計	851	868	806	925	839

#### 【間伐実績】

（単位：ha）

区分	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	1,200	773	448	429	700
八代市	1,200	773	448	429	700
氷川町	-	-	-	-	-
県計	13,601	12,555	9,218	8,534	8,933

○八代地域では、年間約90haの造林と年間約710haの間伐が実施されている。（H22～26年度の5か年の平均）

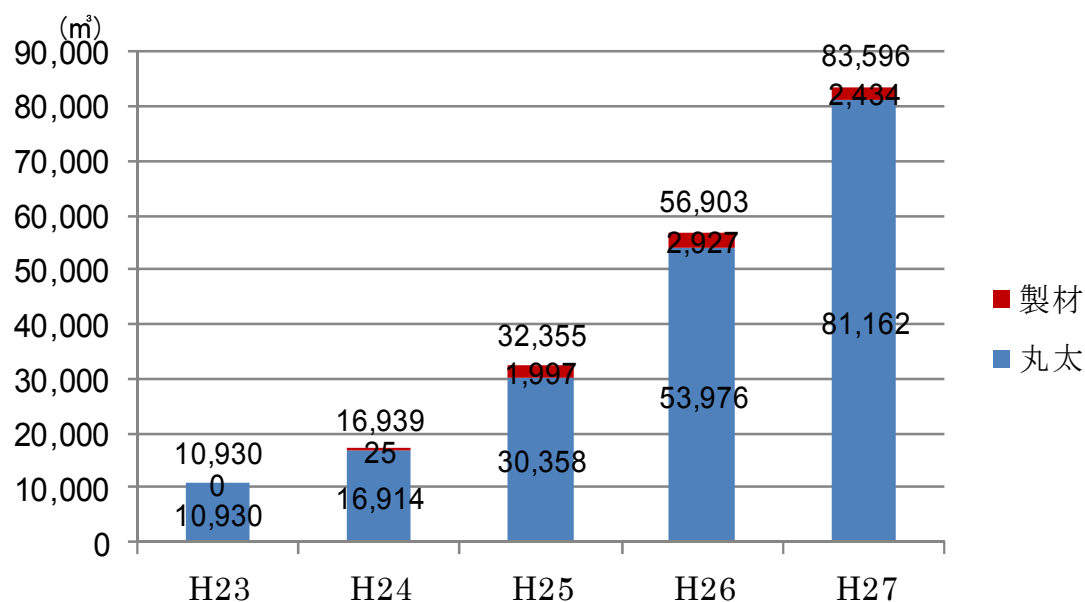
## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■ 八代港からの木材輸出状況（丸太、製材）

（資料：熊本県林業振興課）

（単位：m<sup>3</sup>）

品名	輸出先	材積					対前年比
		H23	H24	H25	H26	H27	
丸太	韓国	312	1,399	5,610	12,898	17,985	139.4%
	中国	4,369	3,731	17,634	33,661	62,234	184.9%
	台湾	6,249	11,784	7,114	7,126	943	13.2%
	ベトナム	0	0	0	291	0	-
	小計	10,930	16,914	30,358	53,976	81,162	150.4%
製材	韓国	0	0	31	49	528	1077.6%
	中国	0	0	1,877	2,783	1,828	65.7%
	台湾	0	25	0	0	0	0.0%
	ベトナム	0	0	89	95	78	82.1%
	小計	0	25	1,997	2,927	2,434	83.2%
合計		10,930	16,939	32,355	56,903	83,596	146.9%



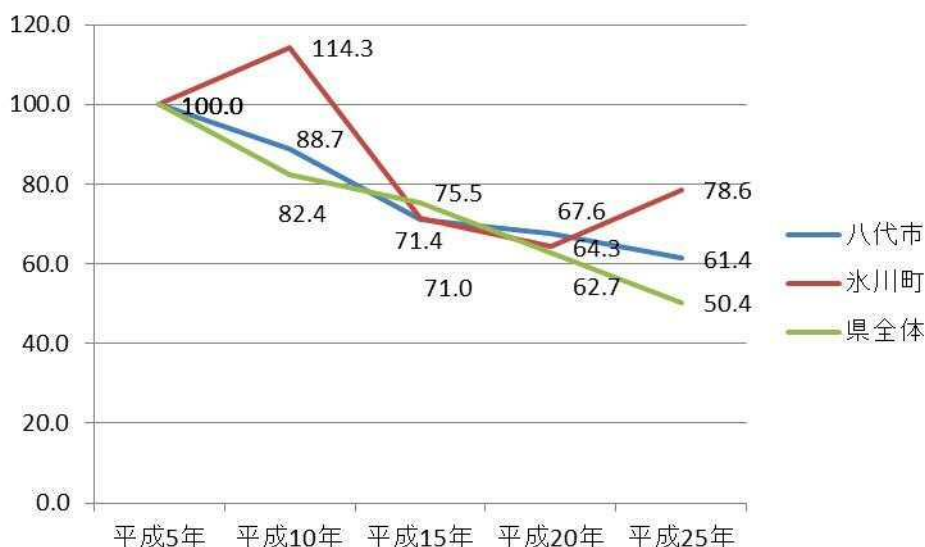
## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 水産業

#### ■市町村別漁業経営体数

（資料）漁業センサス

	H5	H10	H15	H20	H25
管内計	401	363	285	270	251
八代市	373	331	265	252	229
氷川町	28	32	20	18	22
管内／県全体	5.8%	6.4%	5.5%	6.3%	7.2%
県全体	6,885	5,671	5,196	4,314	3,467



○平成25年の管内の経営体数は、対平成5年比で61%となっており、県全体の50%に比べて減少率が低い。

#### ■漁業許可数

（資料）熊本県県南広域本部水産課（H28.4.1現在）

市町名	八代市	氷川町	合計
許可数	386	29	415

○管内における許可数は、415件で、主な種類は、えび流し網、げんしき網、かにかご、囲い刺し網及びくちぞこ刺し網である。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■漁船及び遊漁船業登録数

（資料）熊本県南広域本部水産課（H28.9 現在）

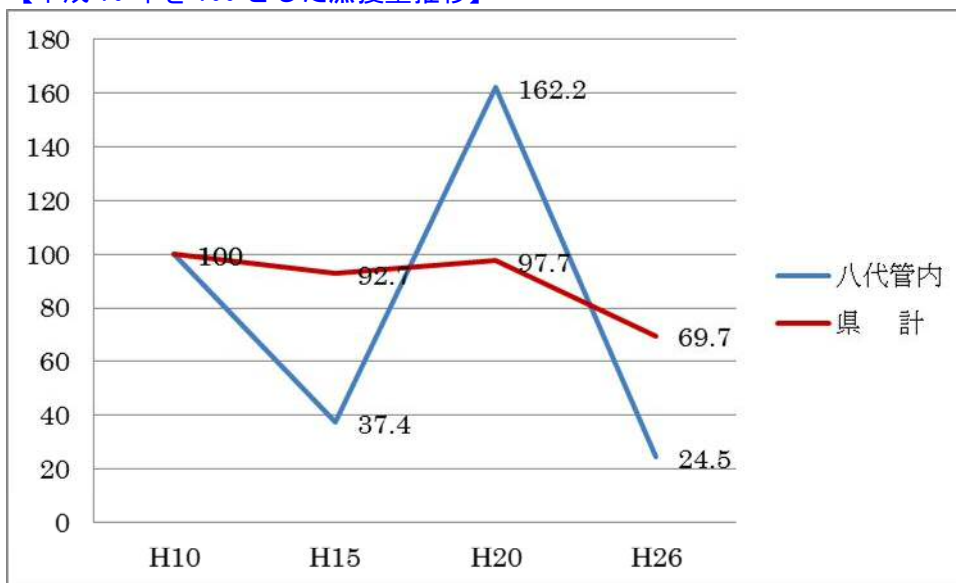
市町名	漁船	遊漁船業
管内計	530	7
八代市	476	7
氷川町	54	0
八代海全体	1,425	54

### ■漁獲量の推移

（資料）海面漁業生産統計調査（単位：トン）

	H10	H15	H20	H26
管内計	1,122	420	1,820	275
管内／県全体	3.9%	1.6%	6.5%	1.4%
県計	28,772	26,668	28,098	20,063

【平成10年を100とした漁獲量推移】



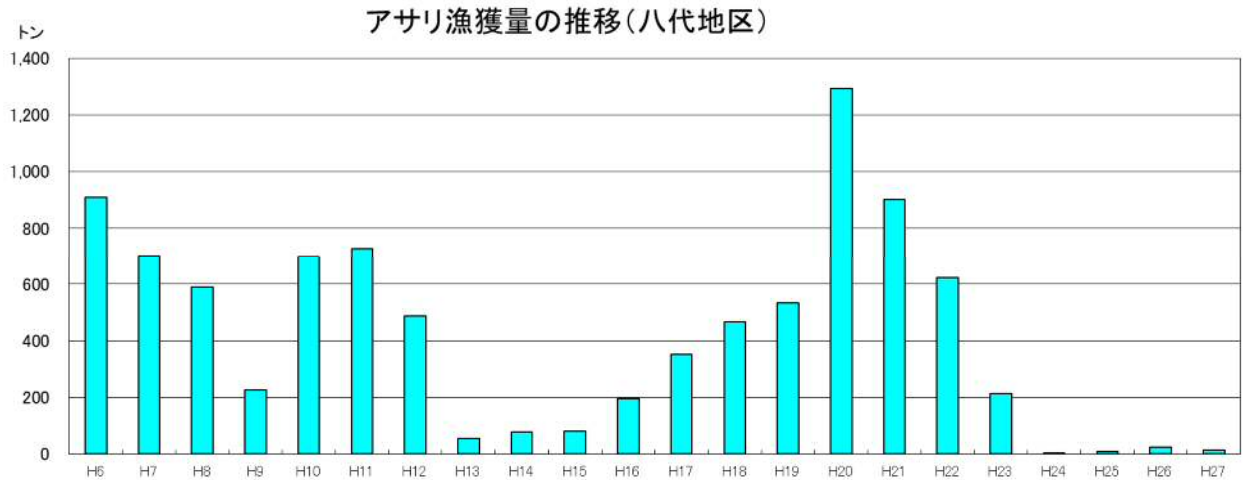
○平成26年の八代管内漁獲量は275トンで、県全体に占める割合は1.4%である。

○平成10年時の漁獲量と比較すると、県計は3割強減少しているのに対し、八代管内はアサリ不漁を要因に7割以上減少している。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■アサリ採貝漁業

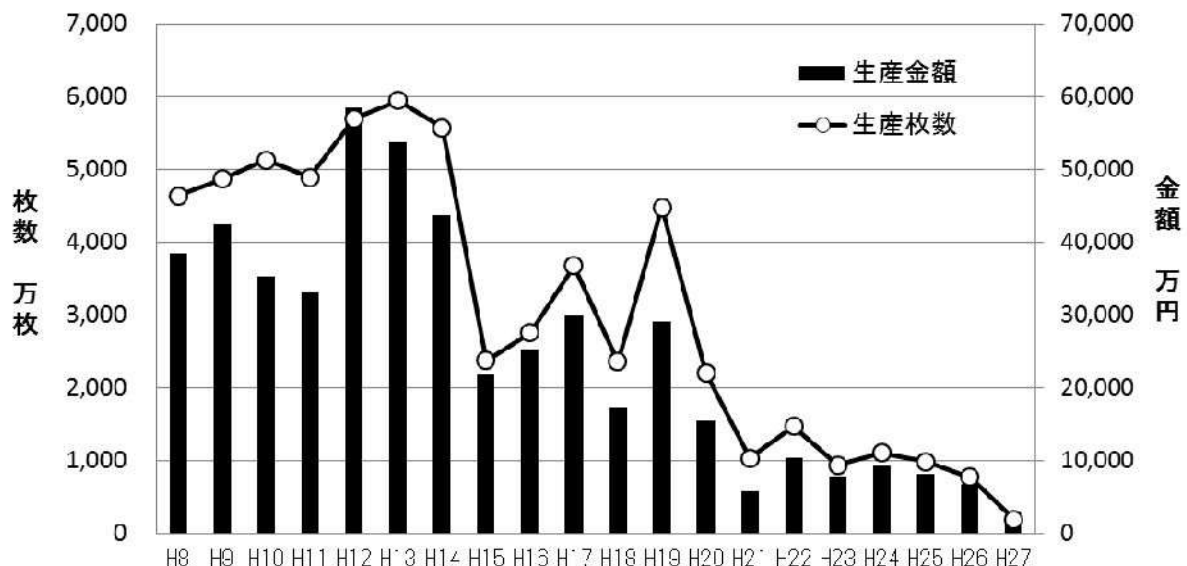
（資料）熊本県県南広域本部水産課



- ・八代地域のアサリの漁獲量は、平成20年の約1,300tをピークに年々減少し、平成25年は約8t、平成26年は約26t、平成27年は約12tと危機的な状況にある。
- ・アサリの漁獲量減少には、気象海況の変化や河川水流入量の増加等による大量へい死の他、アサリの成長を阻害するホトトギスガイやアサリを食べるナルトビエイの増加などが関係している。

### ■ノリ養殖漁業

（資料）熊本県県南広域本部水産課



- ・ノリの近年における生産量は、H13の1/10程度まで減少し、不作となっているが、その原因として、種付け時期の水温が高いことや年明けの栄養不足によりノリを収穫できる期間が短くなっていることがあげられる。
- ・また、経営体数も10年前の約4分の1にまで減少している。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

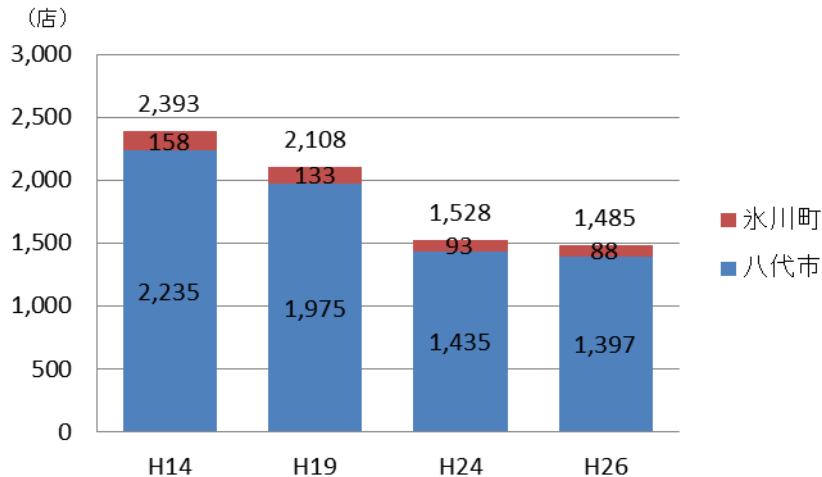
### 商業

#### ■商店数の推移

（資料）H14, H19, H26 商業統計調査、H24 経済センサス（単位：店）

	H14	H19	H24	H26
管内計	2,393	2,108	1,528	1,485
八代市	2,235	1,975	1,435	1,397
氷川町	158	133	93	88
県計	25,696	22,976	16,798	16,417

※平成19年度以前の商業統計調査と平成24年以降の経済センサス及び商業統計調査では、数値の算出方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。

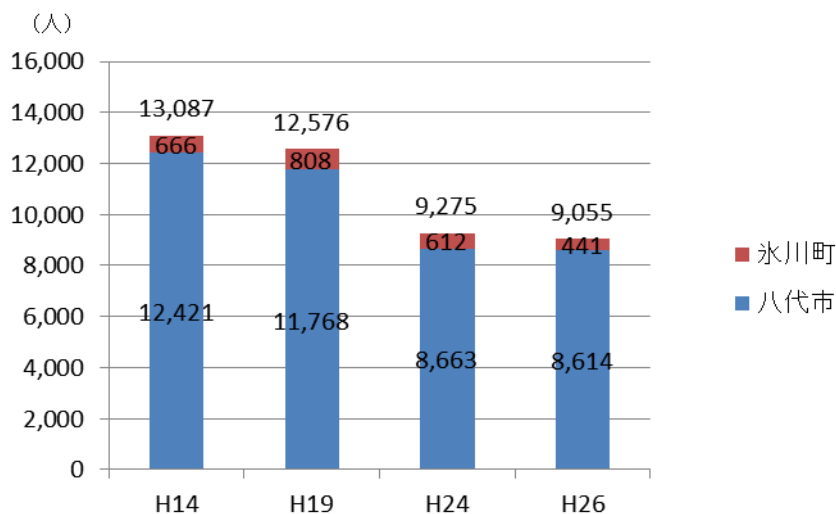


#### ■従業者数の推移

（資料）H14, H19, H26 商業統計調査、H24 経済センサス（単位：人）

	H14	H19	H24	H26
管内計	13,087	12,576	9,275	9,055
八代市	12,421	11,768	8,663	8,614
氷川町	666	808	612	441
県計	162,563	150,135	110,203	113,089

※平成19年度以前の商業統計調査と平成24年以降の経済センサス及び商業統計調査では、数値の算出方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

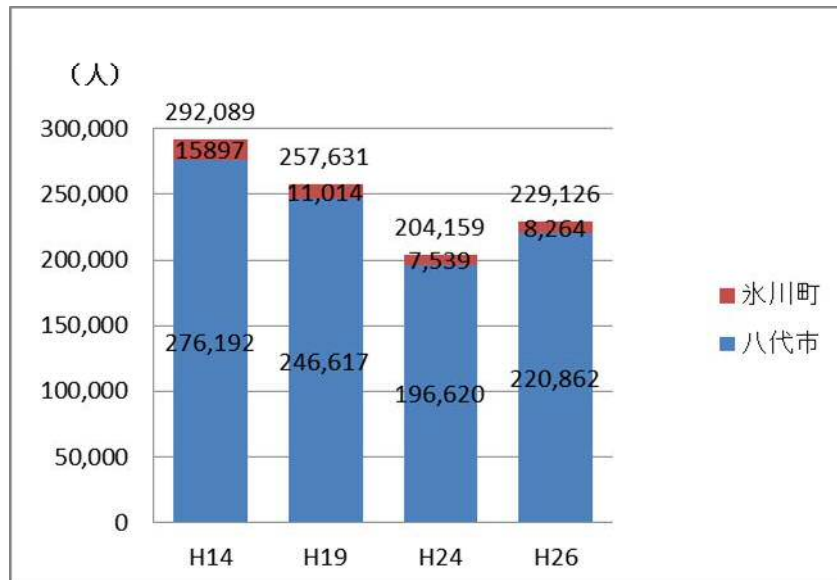
### ■年間商品販売額の推移

（資料）H14, H19, H26 商業統計調査、H24 経済センサス

（単位：百万円）

	H14	H19	H24	H26
管内計	292,089	257,631	204,159	229,126
八代市	276,192	246,617	196,620	220,862
氷川町	15,897	11,014	7,539	8,264
県計	4,184,779	3,950,340	3,222,289	3,669,910

※平成19年度以前の商業統計調査と平成24年以降の経済センサス及び商業統計調査では、数値の算出方法が異なることから、数値の比較には注意を要する。



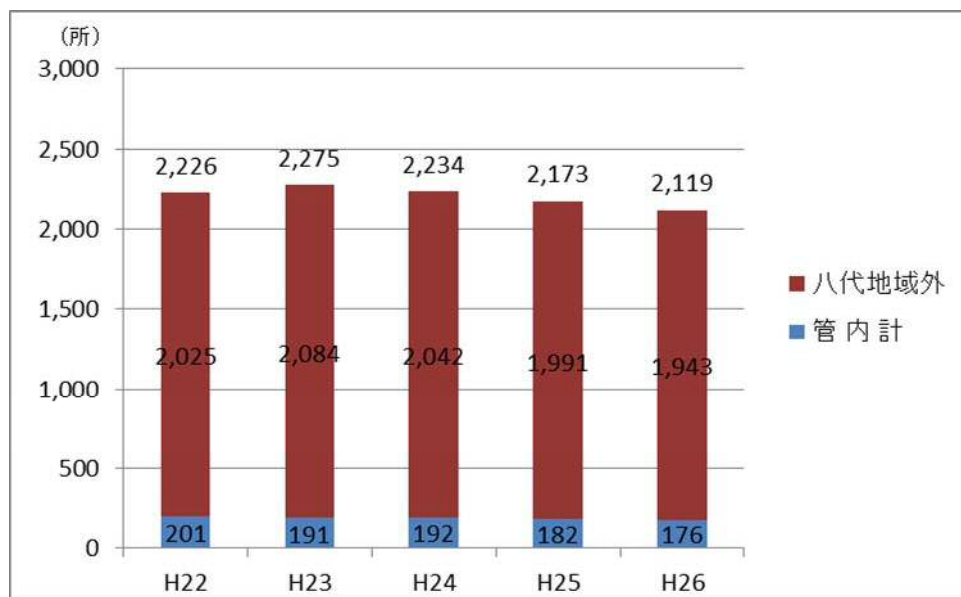
## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 工業

#### ■製造加工を行なっている事業所数の推移

（資料）工業統計調査（単位：所）

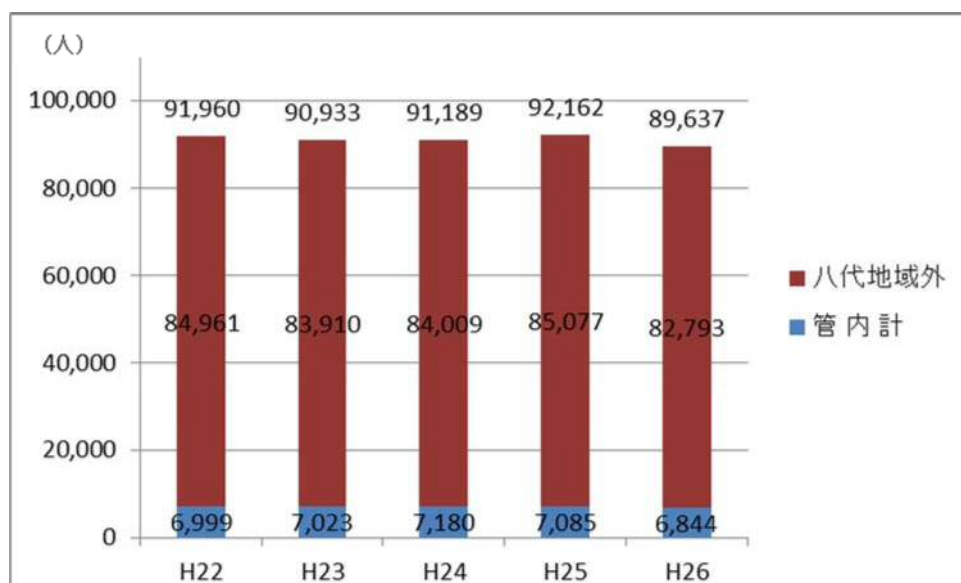
	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	201	191	192	182	176
八代市	192	182	183	173	167
氷川町	9	9	9	9	9
県計	2,226	2,275	2,234	2,173	2,119



#### ■製造加工を行なっている従業員数の推移

（資料）工業統計調査（単位：人）

	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	6,999	7,023	7,180	7,085	6,844
八代市	6,911	6,961	7,098	7,012	6,769
氷川町	88	62	82	73	75
県計	91,960	90,933	91,189	92,162	89,637





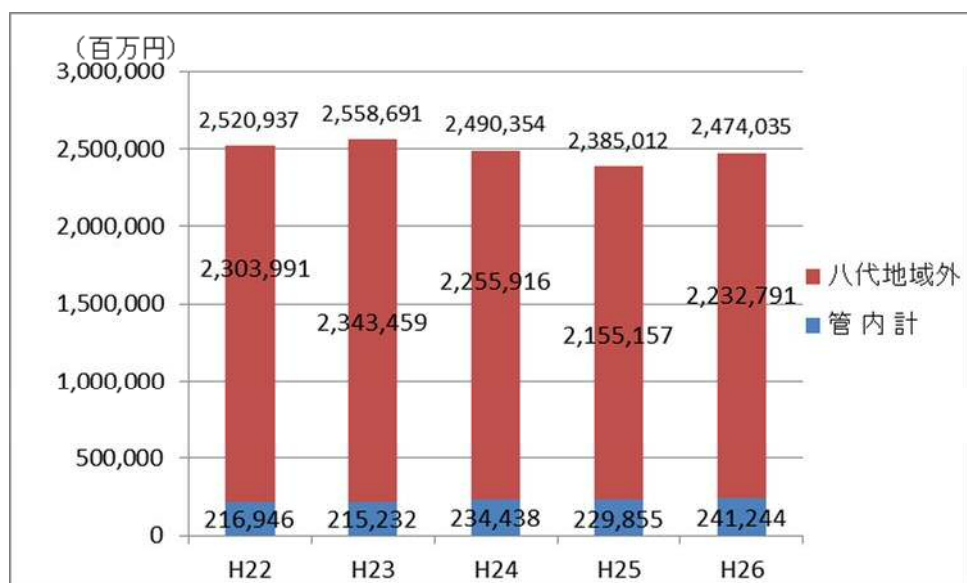
## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■ 製造品出荷額等の推移

（資料）工業統計調査

（単位：百万円）

	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	216,946	215,232	234,438	229,855	241,244
八代市	216,419	214,713	233,788	229,288	240,686
氷川町	527	518	650	567	558
県計	2,520,937	2,558,691	2,490,354	2,385,012	2,474,035



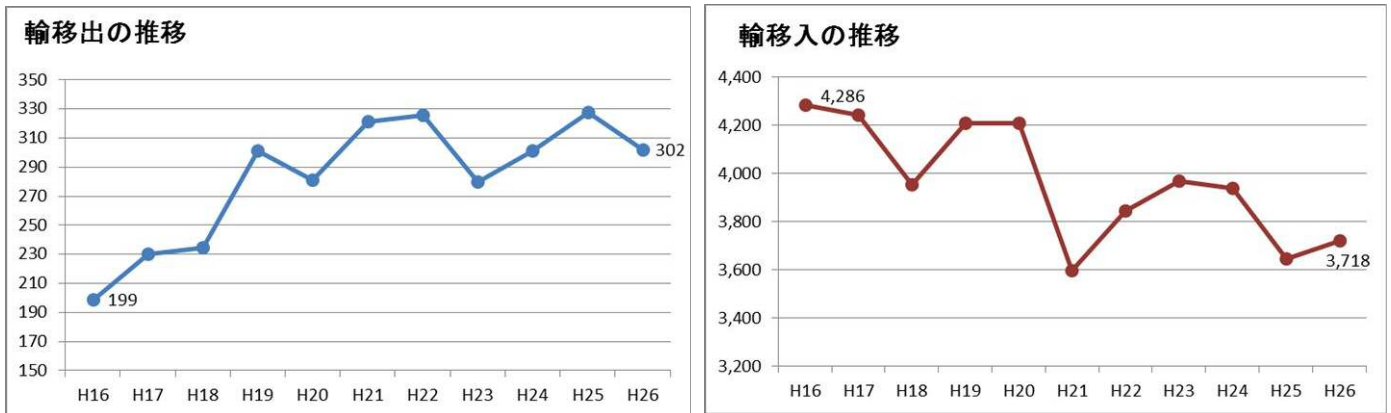
## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 港湾

#### ■八代港の海上出入貨物の推移

（資料）八代港港湾取扱貨物実績  
（単位：千トン）

#### 八代港輸移出・入貨物の推移（フェリーを除く）



- 八代港は、平成 23 年度に国重点港湾に指定。物流の県内拠点としての役割は大きくなっている。
- 平成 26 年度は輸移出が約 30 万トンで前年度に比べ約 8%減であったが、輸移入は約 372 万トンで前年度に比べ約 2%増加した。

#### ■八代港の県内シェア

【移出・移入の貨物量】（資料）熊本県港湾課・港湾取扱貨物実績（H26 年/フェリーを除く）

	貨物量 (トン)		
	八代港	熊本県全体	県内シェア
移出	124,591	700,848	17.8%
移入	2,115,679	3,348,477	63.2%
小計	2,240,270	4,049,325	55.3%

注：「移出」とは、八代港から国内の港へ輸送された貨物。「移入」とは、国内の港から八代港へ輸送された貨物。

#### ■輸出・輸入の貨物量、金額から見た八代港の県内シェア

（資料）H26 港湾統計年報、外国貿易年表（長崎税関、H26 年）

	貨物量 (トン)			輸出入額 (千円)		
	八代港	熊本県全体	県内シェア	八代港	熊本県全体	県内シェア
輸出	177,212	234,764	75.5%	14,219,192	31,146,078	45.7%
輸入	1,602,082	1,804,276	88.8%	48,210,895	106,488,307	45.3%
小計	1,779,294	2,039,040	87.3%	62,430,087	137,634,385	45.4%

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■八代港の輸出・輸入貨物

（資料）熊本県八代港管理事務所（H26年/フェリーを除く）

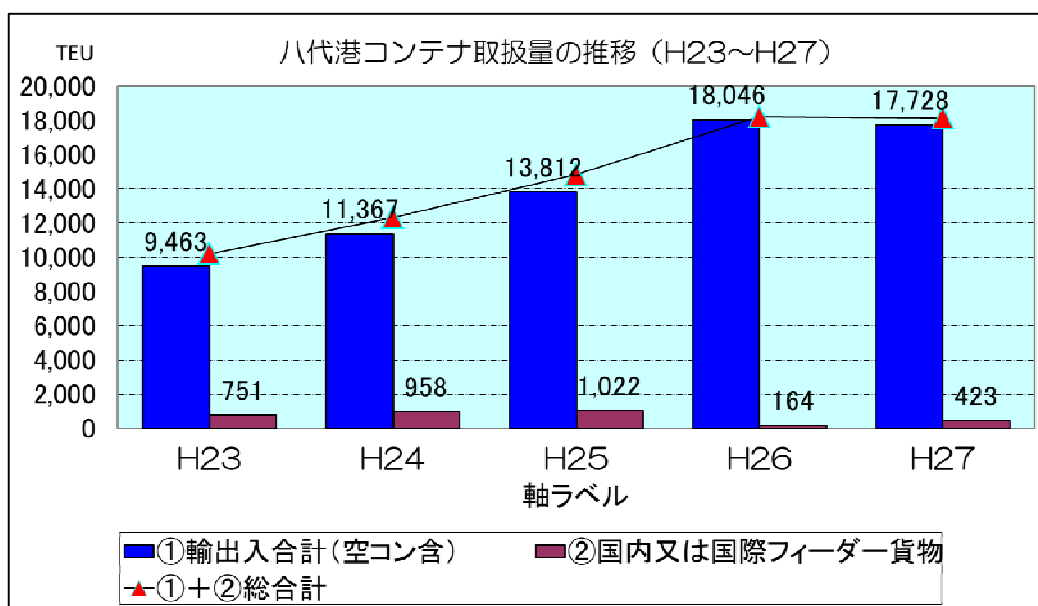
（単位：トン）

区分		1位		2位		3位	
輸出 177,212	分類別	金属くず	69,920 (39.5%)	原木	44,156 (24.9%)	再利用資材	26,261 (14.8%)
	主な相手国	中国 韓国		中国 韓国		韓国 中国	
輸入 1,602,082	分類別	木材チップ	553,464 (34.5%)	石灰	347,981 (21.7%)	とうもろこし	327,434 (20.4%)
	主な相手国	ベトナム 南アフリカ		オーストラリア 韓国		アメリカ	

### ■八代港コンテナ取扱量の推移

（資料）熊本県企業立地課ポートセールス推進室（単位：TEU）

	H23	H24	H25	H26	H27
輸出(実入り)	1,367	1,904	2,954	5,369	5,553
輸入(実入り)	4,635	5,469	5,788	6,163	5,264
輸出入合計 (実入り)	6,002	7,373	8,742	11,532	10,817
①輸出入合計 (空コンテナ含む)	9,463	11,367	13,812	18,046	17,728
②国内又は国際フィーダー貨物	751	958	1,022	164	423
①+② 総合計	10,214	12,325	14,834	18,210	18,151



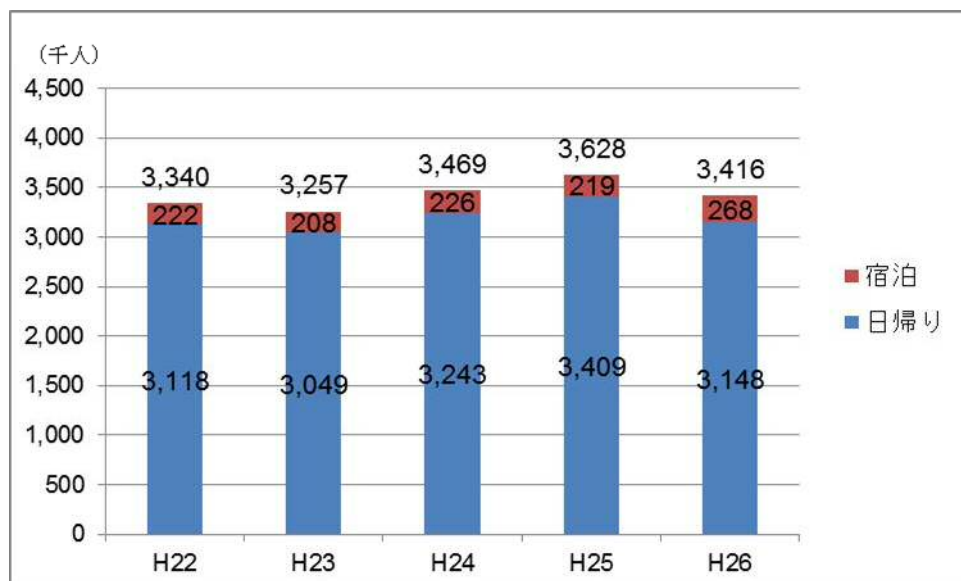
## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 観光

#### ■観光入込客数の状況

（資料）熊本県観光統計（単位：人）

	H22	H23	H24	H25	H26
管内計	3,340,396	3,257,509	3,469,503	3,628,623	3,416,120
日帰り	3,118,480	3,049,101	3,243,123	3,409,204	3,148,283
宿泊	221,916	208,408	226,380	219,419	267,837
県計	57,237,563	58,061,797	59,196,119	61,189,335	58,989,066
日帰り	50,770,494	51,469,030	52,562,046	54,350,570	52,064,829
宿泊	6,467,069	6,592,767	6,634,073	6,838,765	6,924,237



#### ■県全体に占める八代管内のシェア

	H22	H23	H24	H25	H26
八代管内計	5.8%	5.6%	5.9%	5.9%	5.8%
日帰り	6.1%	5.9%	6.2%	6.3%	6.0%
宿泊	3.4%	3.2%	3.4%	3.2%	3.9%

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■八代港における大型クルーズ船受入れ状況

(※H28.11.1時点)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
国内船籍	5	2	1	2	1	1
海外船籍	0	2	0	1	10	10
合計	5	4	1	3	11	11



船名：クアンタム・オブ・ザ・シーズ  
 寄港日：H28年1/1、7/7、7/16、9/29、10/3  
 総トン数：16.8万t  
 全長：348m  
 乗客定員：4,180名  
 船社：ロイヤル・カリビアン・インターナショナル

船名：オベーション・オブ・ザ・シーズ  
 寄港日：H28年7/20、8/29、9/17  
 総トン数：16.8万t  
 全長：348m  
 乗客定員：4,180名  
 船社：ロイヤル・カリビアン・インターナショナル



船名：ダイヤモンド・プリンセス  
 寄港日：H28年9/15  
 総トン数：11.5万t  
 全長：290m  
 乗客定員：2,706名  
 船社：プリンセスクルーズ



## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### 基盤整備

#### ■道路改良率

（資料）道路現況調査（平成 28 年 4 月 1 日現在）

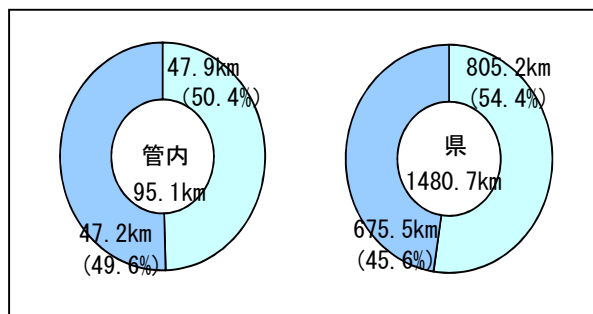
道路種別	管内計			県計
	実延長 (km)	改良済延長 (km)	改良率 (%)	改良率 (%)
一般国道（県管理路線）	57.443	47.904	83.4%	95.0%
一般国道小計	57.443	47.904	83.4%	95.0%
主要地方道	103.412	69.048	66.7%	77.4%
一般県道	186.099	94.877	51.0%	56.7%
県道小計	289.672	163.924	56.6%	64.9%
合計	346.955	211.829	61.0%	72.4%

○八代管内の一般国道（県管理路線）、主要地方道、一般県道の改良率は県平均と比べて低くなっており、交通基盤の整備が重要となっている。

#### ■河川整備状況（法河川）

（資料）河川整備現況調査（平成 28 年 4 月 1 日現在）

- 60mm/h 対応整備済延長(km)
- 未整備延長(km)



- 管内には、一級河川である球磨川や二級河川の氷川等があり、流域の安全な生活環境を維持するため、河川整備を進める必要がある。
- また、河川の持つ多面的な機能を活かした川づくりにも取り組んでいる。

## 八代地域の現況（データで見る八代地域）

### ■土砂災害危険箇所整備率

（資料）熊本県砂防課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

危険箇所	土石流危険渓流			地すべり危険箇所			急傾斜地崩壊危険箇所		
対策事業種別	砂防事業			地すべり対策事業			急傾斜地崩壊対策事業		
対策箇所	土石流危険渓流ランクⅠ	うち概成箇所	整備率	地すべり危険箇所	うち概成箇所	整備率	急傾斜地崩壊危険箇所ランクⅠ	うち概成箇所	整備率
管内計	241	55	22.8%	13	9	69.2%	197	46	23.4%
県計	2,120	455	21.5%	107	65	60.7%	2,793	734	26.3%

注1：「土石流危険渓流ランクⅠ」とは、人家5戸以上等に流出する恐れがある土石流危険渓流

注2：「地すべり危険箇所」とは、地すべりの発生する恐れのある箇所で、地すべり防止法第51条に基づく国土交通大臣所管となりうるもの

注3：「急傾斜地崩壊危険箇所ランクⅠ」とは、被害想定区域内に人家5戸以上等がある箇所

注4：「概成」とは、危険渓流や危険箇所において概ね災害防止施設が整備されている状態で、詳細は以下のとおり

- ・土石流危険渓流では、砂防えん堤が1基以上設置されている渓流
- ・地すべり危険箇所及び急傾斜地崩壊危険箇所では、想定される現象に対する防止施設が整備されている箇所

○土砂災害とは、土石流、地すべり、急傾斜地崩壊を総称したものの。

○管内の、保全人家戸数5戸以上の土石流危険渓流における砂防工事整備率は22.8%、地すべり危険箇所における地すべり防止施設の整備率は69.2%、保全区域内に人家が5戸以上ある急傾斜地危険箇所の整備率は23.4%となっており、今後とも整備を推進していく必要がある。

### ■汚水処理人口普及状況

（資料）熊本県下水環境課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

区分	行政人口	汚水処理人口	汚水処理普及人口率	下水道		農業集落排水施設等		合併処理浄化槽等		コミプラ	
				下水道処理人口	下水道整備率	農業集落排水施設等整備人口	整備率	住宅用途合併処理浄化槽設置人口	浄化槽普及率	コミプラ処理人口	コミプラ処理人口普及率
管内計	142,462	93,772	65.8%	69,831	49.0%	2,020	1.4%	21,921	15.4%	0	0%
八代市	130,023	82,995	63.8%	59,519	45.8%	2,020	1.6%	21,456	16.5%	0	0%
氷川町	12,439	10,777	86.6%	10,312	82.9%	0	0%	465	3.7%	0	0%
県計	1,802,800	1,537,845	85.3%	1,205,747	66.9%	75,273	4.2%	256,295	14.2%	530	0.03%

注：「汚水処理人口普及率」とは、下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽等、コミュニティプラント（コミプラ）の汚水処理人口の合計を行政人口（住民基本台帳人口）で除した指標

○地域の生活環境の改善、河川、湖沼等の公共用水域の水質保全のために、汚水処理施設は欠かせない生活基盤の一つである。

○現在、管内の汚水処理人口普及率は65.8%と低く、汚水処理施設の整備が急がれている。